



池田町

教室名	あそびの教室
対象者	就園前で、乳幼児健康診査からのフォロー児
実施回数	月2回×2グループ
スタッフ	保育士(子育て支援課): 2人 障害児療育コーディネーター(大北圏域障害者総合支援センター)
ねらい	<ul style="list-style-type: none">・生活の中で暮らしやすい子になる。・親がその子にあった子育ての仕方が学ぶことができる。
当日の流れ	朝のあつまり 体操・親子ふれあい サーキット おしごと(個別課題) 自由あそび(グループ) トイレ・手洗い おやつ 帰りのあつまり スタッフカンファレンス
実施の留意点・工夫点	<ul style="list-style-type: none">・親たちに具体的にわかりやすく、現実に即した工夫した子育て方法がいか に伝えられるか。

生活地図

現 在	1年後
	

生活日課

(変えてみたいこと・トライしてみたいこと)

現在の生活		1年後の生活		優先順位
時 間		時 間		

山形村・朝日村

教室名	母と子の遊びの教室 風の子広場
対象者	入園前で、発育・発達が心配、育児不安等がある親子
実施回数	年15回
スタッフ	心理相談員 1人、家庭相談員 1人、保育士 2人、保健師 4人 ボランティア 2～3人
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室の活動を通して、親子関係を深めながらコミュニケーションと情緒の育成を促す。 ・ 母が発育・発達を促す関わりが持てるように支援し、必要時には医療機関、療育機関等につなげる。 ・ 虐待予防
当日の流れ	<p>9：30～ 集合 自由遊び</p> <p>9：50～ 片付け</p> <p>10：00～ はじめの会 呼名、紙芝居、親子遊び、リズム遊び、 ダンボール競争、タオルぶんこ</p> <p>水分補給</p> <p>10：30～ 今日の活動</p> <p>11：00～ 座談会</p> <p>11：25～ 終わりの会 手遊び、歌（むすんでひらいて）</p> <p>11：30 解散</p> <p>サーキット、バルーン、散歩、水遊び、キャンプ、ヨガ、親子体操、制作等 (12：30～16：00 カンファレンス)</p>
実施の留意点・工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような教室が分かってもらい参加を促すために、対象者を誘う際には担当保健師が訪問している。また、次回の教室までにフォローが必要な場合は担当保健師が電話や訪問等をしている。 ・ 準備・片付けを皆でするようにして、参加型の教室にしている。 ・ 座談会（グループワーク）を多く取り入れて母達の交流を図っている。 ・ 親子の関わりが希薄になっているので親子体操等を取り入れ、母子関係を強化している。 ・ 教室中に心理相談員による個別相談を設けている。 ・ カンファレンスでは個々のケース検討を行い、どのような関わりが必要か個別目標を設定している。

風の子広場タイムスケジュール

9 : 3 0 ~ 集合！ あいさつ、シールはり
名札付け、自由遊び

9 : 5 0 ~ 片付け

1 0 : 0 0 ~ はじめの会

親子でいっちに！（親子でからだを動かしましょう）

水分補給（お茶 か さ湯）～さ湯でもおいしいよ～

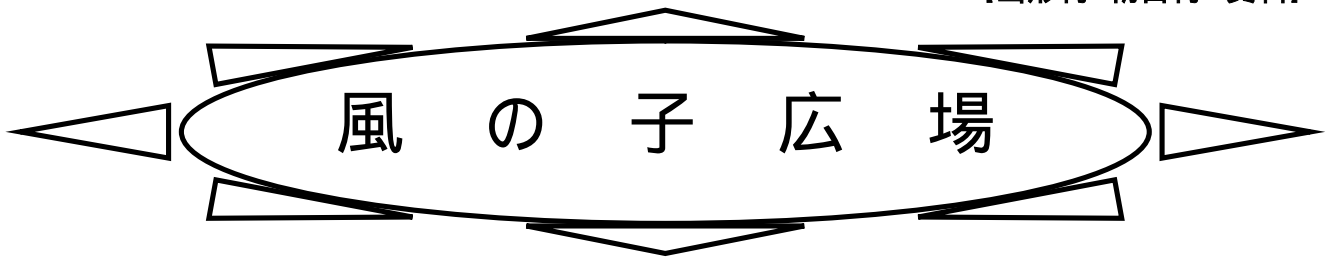
1 0 : 4 0 ~ 今日の活動 ～今日は何をやるのかな～
準備・片付けを一緒にお願いします。

1 1 : 2 5 ~ 終わりの会

歌（むすんでひらいて）

1 1 : 3 0 解散 ～お疲れ様でした～

内容によっては時間が変更になります。



風の子広場では、

親子で、スキンシップしながら楽しく遊びましょう

親子で、風の子のみんなとお友達になりましょう

心配なこと、気になることなどあればスタッフに気軽に声をかけましょう

〔やくそく〕を守りましょう

〔やくそく〕

お菓子、ジュースなどの持ち込みはしない。

～水筒の中身はさ湯、水、お茶で～

子どもの動きに気を配り、事故のないようにしましょう。

～ウチの子もよその子もみんなで注意しましょう～

準備と後片付けはみんなで行いましょう。

携帯電話は電源を切るか、マナーモードにしてください。

休むときには、下記連絡先へ電話してください。

日 程； 4月10日、 5月 8日、 6月12日、 7月10日、 8月 7日
9月11日、 10月 9日、 11月13日、 11月27日、 12月11日
1月 8日、 1月29日、 2月12日、 2月26日、 3月12日

時 間； AM9：30～11：30

場 所； 保健福祉センター「いちいの里」

対 象 者； 乳幼児と保護者

スタッフ； A 心理相談員（松本児童相談所）

B 保育士

C 保育士

D 保育士

E 保健師（朝日村）

F 保健師（山形村）

G 保健師（山形村）

H 保健師（山形村）

主任民生児童委員、健康づくり推進員などボランティアの方が来てくれます

連 絡 先； 山形村保健福祉センター保健対策係 97 - 2100 (代)

朝日村老人福祉センター 保健師 99 - 2540

白馬村

教室名	1. おひさま教室（未就園） 2. おひさま教室 3. S S T教室
対象者	1. 未就園児 2. 3～5才 3. 小学生
実施回数	各教室年間10回程度
スタッフ	【県障害児等療育支援事業より派遣スタッフ】 療育コーディネーター・臨床心理士・理学療法士・作業療法士 【村スタッフ】 保健師・栄養士
ねらい	発達等に支援を要する児に対し、教室を通じて子どもの個性・発達特性の理解を深め、問題行動や育児不安の緩和などをはかり日々の育児を支援する。また、個人に適した接し方課題を探り、得意な事や好きなことを伸ばしていけるようにする。
当日の流れ	【おひさま教室】 1. 集団遊び 2. 朝の会 3. 個別課題 4. サーキットやゲーム 5. おやつ（別室にて親のティータイム会、未就園クラスはおやつなし） 6. さよならの会 【S S T教室】 1. 始まりの会 2. 集団課題 3. 低学年・高学年合同ゲーム 4. 終わりの会 5. 親は別室にてティータイム会や勉強会
実施の留意点・工夫点	・対象者がほっとできる居場所づくり ・育児不安の緩和

長野市（保健センター）

教室名	すくすく広場
対象者	発達相談員及び保健師が必要と認めた子ども及び親
実施回数	月1回 経過観察、相談指導を実施。
スタッフ	発達相談員 保健師
ねらい	精神運動発達・言語発達等において経過観察の必要な乳幼児、及び母子関係や保護者の育児姿勢に問題のみられる母子について、継続的に集団遊びや、個別的な相談・指導の場を提供し子どもの健やかな発育、発達を促す。
当日の流れ	<p>9:30 会場準備 事前打ち合わせ</p> <p>10:00～ 受付</p> <p>自由遊び 大きな遊具を使った動きのある遊びと親の相談を行う。</p> <p>関わり遊び 親子がふれあえる内容</p> <p>自由遊び 静かな遊び（ままごと等）と親の相談を中心に行う。</p> <p>11:00 終了 カンファレンス</p>
実施の留意点・工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・2歳前の児も多く育てにくい時期で母の不安感も強いため、ことばがけに留意し、母の気持を確認していくように留意している。 ・経過観察の意味もある教室なので、あそびの教室や他の専門機関の紹介も行う。

長野市（保健センター）

教室名	あそびの教室
対象者	心身の発達および親子関係に何らかの問題が心配される児とその保護者
実施回数	週1回
スタッフ	発達相談員 保育士 保健師
ねらい	安定した親子関係の支援 生活全般への支援 障害受容への支援 関係機関との連携
当日の流れ	<p>9:00 会場準備 事前打ち合わせ</p> <p>9:30～受付 シール貼り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由あそび：粗大あそび、ままごとなど ・お集まり：体操・名前呼び・マッサージ・紙芝居 手遊び等 ・課題あそび：サーキット・小麦粉粘土・お散歩・雪あそび グループワークなど ・おやつ：ノートの記入、配布 <p>11:00 終わりのあいさつ カンファレンス</p>
実施の留意点・工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・動きの多い子が多いので危険のないように配慮する。 ・教室の参加が母子の負担にならないように留意する。 ・入園前の母子なので児の抱える問題への理解が難しい面がある。母の気持ちをききながら話しをするようにしている。 ・乳幼児発達健診や医療機関受診をすすめる。 ・あそびの教室終了後相談会や園訪問を実施し継続して対応できるように配慮する

北信保健所 親子のびのび教室

1 対象者

乳幼児健診で発達障害等の疑いにより要観察、要指導になった児のうち、小集団の体験や個別課題の支援が必要な児と保護者

2 教室開催のねらい

(1) 療育環境を整え、二次的問題の発生を予防する

- ・ 児の発達段階の把握と発達段階にあわせた療育の実施
- ・ 日常生活への応用（保護者、保育士への伝達）
- ・ 親の不安緩和
- ・ 親同士の情報交換の場

(2) 支援のための各機関との連絡調整

- ・ 就園、就学時の引継ぎ、情報提示
- ・ 医療機関への結びつけ
- ・ 市町村のバックアップ

3 開催日時

月 1 回 3 グループ 1 グループ（8 人程まで）

4 スタッフ

保健所（保健師、管理栄養士）

市町村（保健師、家庭児童相談員、教育相談員、臨床発達心理士）

病院（言語聴覚士）

特別支援学校（特別支援教育コーディネーター）

圏域障害者総合相談支援センター

（療育コーディネーター、療育相談支援専門員、家庭児童相談員）

5 教室の流れ

(1) 自由遊び

< 教室会場全体の様子（開始時） >

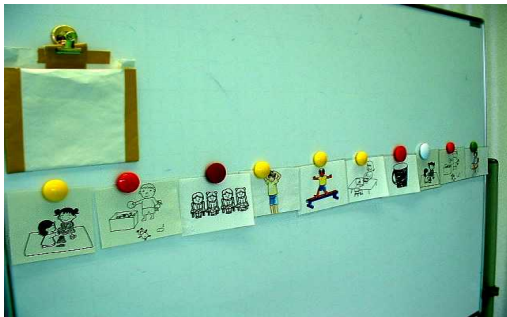


(2) はじめの会
あいさつ
名前呼び

<はじめの会、終わりの会
の場所>



<教室の流れ(スケジュール)>



(3) 手遊び
(4) 体操
(5) サーキット

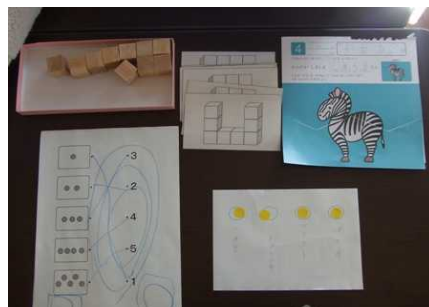
<サーキットで使用する平均台
足型が貼ってある>



(6) 個別課題



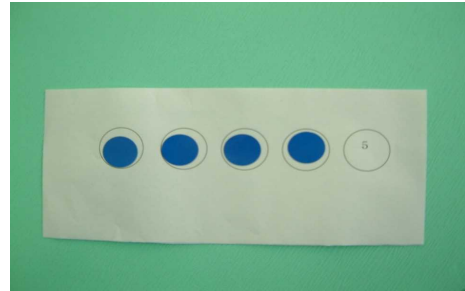
<個別課題の例>





< 個別課題の場所 >

< 次の課題に移るてがかり
シール貼り >



- (7) おやつ
- (8) 楽器あそび
- (9) おわりの会 あいさつ
- (10) スタッフカンファレンス
 - 教室全体の記録・・・・記録用紙
 - 個別記録・・・・記録用紙

6 教室実施にあたり工夫していること

- ・ 就学にあたり、小学校への申し送りを実施。
 - < 留意点 >
 - * 親子のびのび教室での様子をまとめ、保護者の了解を得て資料として提供する。
 - * 幼少期から就学へ切れ目のない支援を提供する。
 - ・ 教室終了後のフォローとして、「親子のびのび教室終了児保護者懇談会」を年 3 回実施。
 - ・ 3 月には、親とスタッフとの面接を行い、1 年間の振り返りと、次年度の目標を話し合う。
 - * ライフサポート情報（資料あり）を基に、保護者とスタッフで児の変化を共有する。
- ・ スタッフの話し合いを大切にして、支援の一貫性を保つ。
- ・ 親子のびのび教室の場面だけでなく、相談、家庭訪問、保育園訪問などさまざまな場面での支援を全体的に考える。
- ・ 子どもの発達段階に応じたグループで、教室の内容をアレンジする。

のびのび教室全体記録表		北信保健所
実施年月日 平成 年 月 日()午前コース <記入者 >		
参加者	合計 人 幼児 人、保護者 人、その他 人() 初回再掲() () ()	
スタッフ	合計 人 <スタッフの所属と名前を記入>	
名前(担当)	参加児の様子、カンファレンスの内容	
次回		

氏名						(歳 月)
点呼	着席	挙手	返事	手遊 び		体操
サーキット	トンネル		トランポリン		ひも	マット
						平均台
今 回 の 課 題 の 実 施 状 況	名称	*	様子			
次回の 課題	名称	ねらい	使う物、やり方、留意点			
おやつ						
楽器		母からの 聞き取り				
全 体 の 様 子	体調 遊び 模倣 注意			指示(集団・個別) 集団適応 対人(大人・子供) 言語		
評 価 感 想						
	(担当:)					

* できる (+) 介助で可 (±) できない (-)

年 月 日

北信保健所

氏名	(歳 ヶ月)								
点呼	着席	挙手	返事	手遊び		自由遊び			
サーキット	ブロック渡り	いちに！いちに！	トランポリン	ケンケンパ	マット	ひも	タッチ		
今回の課題実施状況	名称	*	様子						
ゲーム									
次回の課題	名称	ねらい	準備						
全体の様子	体調	遊び							
	模倣	注意							
	指示(集団・個別)	集団適応							
	対人(大人・子ども)	言語							
おやつ									
楽 器		母からの聞き取り							
評 価 感 想									

* できる (+) 介助で可 (±) できない (-)

(担当:)

ライフサポート情報

氏名

項目		平成 年 月(才 ヶ月)	変わってきたこと(平成 年 月 才 ヶ月)
食事	好きな食べ物		
	嫌いな食べ物		
	食べ方		
睡眠			
排泄			
清潔・着脱衣			
遊び・社会性			
運動機能			
好きな	場所・こと		
	物		
苦手な	場所・こと		
	物		
こだわり			
コミュニケーション	発語		
	要求サイン		
	拒否サイン		
	言葉の理解		
	理解しやすい方法		
配慮したいこと			

記入者名 ()

1. 発達特性に関する項目
(複数で指摘された児は主要なものでカウント)

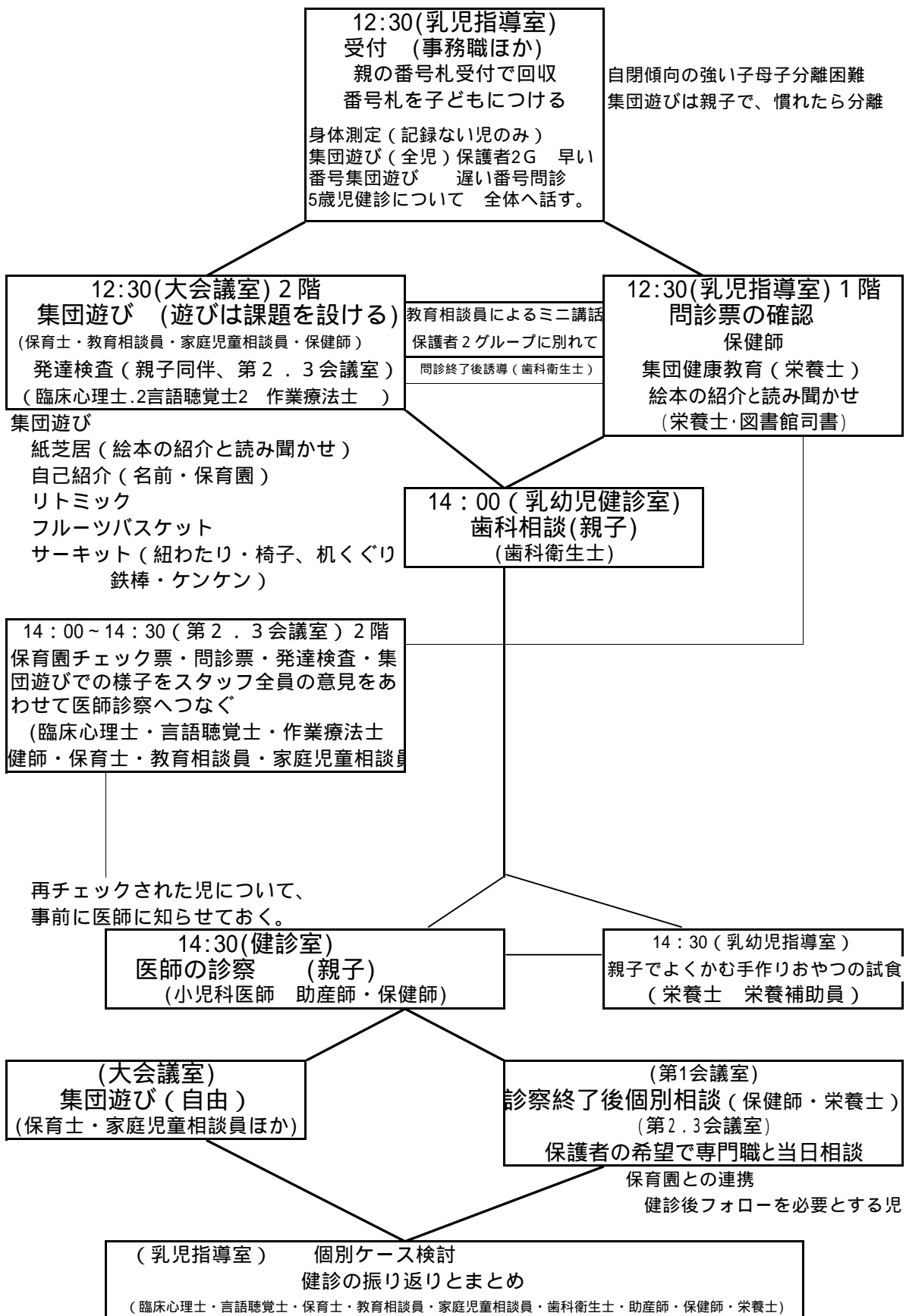
	対象児数 (人)	受診児数 (人)	受診率 (%)	発達特性における 要精検率 (%)	発達特性に関する項目												
					(人)	総計	ADHD 傾向 (多動/ 不注意の み含む)	計	構音 障害 どもり	計	PDD /LD 傾向	計	MR/ 全 体的な 遅れ 等	計	感覚 統合系	計	その他
平成16 年度	337	299	88.7	5.7	要観察	71	24	32	32	50	9	18	1	1	1	2	4
					要精検	17	6		5		5		0		1		0
					要医療	14	1		12		1		0		0		0
					継続中	5	1		1		3		0		0		0
平成17 年度	350	332	94.9	7.8	要観察	96	30	52	30	35	15	28	3	5	5	8	13
					要精検	26	18		1		3		1		2		1
					要医療	10	2		4		2		1		1		0
					継続中	10	2		0		8		0		0		0
平成18 年度	361	332	92.0	10.5	要観察	85	20	36	26	29	11	32	5	6	10	14	13
					要精検	35	15		0		14		1		4		1
					要医療	3	0		2		1		0		0		0
					継続中	8	1		1		6		0		0		0
平成19 年度	356	326	91.6	9.2	要観察	80	25	34	26	36	8	17	3	9	8	19	10
					要精検	30	8		2		3		5		11		1
					要医療	2	0		2		0		0		0		0
					継続中	14	1		6		6		1		0		0

2. 身体発育に関する項目
(発達特性を含め重複で指摘された児はすべてカウント)

総計	身体発育に関する項目										環境その他
	身体発育	視覚・聴覚	熱性けいれん	運動機能	血液	皮膚	循環器	呼吸器	消化器	泌尿器	
38	7	0	0	2	3	16	1	9	0	0	
6	2	0	0	0	0	0	2	1	0	1	
36	1	5	0	0	0	24	0	4	2	0	
36	6	1	7	0	1	9	1	7	1	3	
5	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	
25	0	6	1	0	0	16	0	2	0	0	
18	8	2	0	2	0	2	1	0	1	2	
10	4	2	0	0	0	1	1	1	1	0	
33	0	0	0	0	1	24	2	3	2	1	0
8	0	0	0	0	0	5	0	1	2	0	1
6	0	1	1	0	0	2	1	1	0	0	0
13	1	1	0	0	0	8	0	2	1	0	0

「その他」の項目内容
 融通がきかない・我が強さあり・場慣れに時間がかかる・人見知り強い・内向的・場面緘目・母子分離不安あり・協調性の乏しさあり・もじもじする・形の認知・集団遊びに乗れない・話が聞けない・数の概念・場面に必要な行動とれず・遊びのルールが理解できない

5歳児健診の流れ



番号: 名前 **個別発達検査の見方**

1質問

視点: 導入および新奇場面の対応を見る

~~名前を教える~~

~~保育園(幼稚園)に行く~~

基準: 余分なものを始めの精音は大丈夫と言った場合はプレッシャーが伝わらない

2 課題

視点: 認知面と空間認知 知的な状況の把握 意味の捉

次に道具を使った問題をやる

積み木数

教示: 最初は積み木カップを使わず問題の模様を積み木カップを子ども前に10個提示する(積み木はあらかじめ6個カップの中に入れておき教示でもせやわか書方可)

基準: 不正解の場合数を減らして何個確実にできる確認する

3個わか書可

積み木遊びなどのカップの入れ方をわか指使可

積み木模様

教示: 次の積み木を使わず、または今度の積み木の色が異なるので4個積み木を使って同じ模様を作ると見本のカードを子どもの相手の反対側に置く

が出来た場合は見本を一度やったら 見本

見本の土積み木を乗せる場合は横や発音可

基準: 四角に置ける模様は正確な色正指の理解可

3課題

視点: 空間認知 目と手の協応 注意力 人に対するイメージの把握

次に紙鉛筆を使った問題をやる(鉛筆を渡り順次課題用紙を提示する)

(点結) (月形) (人物画)

教示: 点結は4点結と点線結の両方とも同じ点結が4点結と線結の両方とも同じ点結を線で結ぶ(大指を指し線をつなぐ場合は)最初の点を示す(指を記入)

この見本をこれと同形隠れて見本を縦に見せる(月形の名前を言わなければ)鉛筆を渡す

点結は点結思っても点結は点結から点結を点結する

教示: (何の給分)の場合の給分何給分思っている人は何給分思っているか(何給分)の足らざるを描写

基準: 共通 筆圧 鉛筆の持ち方 課題の意味理解 他のもを描写

正(結)の間違(場合)の間違(方)

線(られ)他線(移)や(る)や(ら)め(か)

意味を捉(て)る何箇所描(く)る首(線)反(対)線(られ)か

4結果題

視点: 構音 短期記憶

教示: 今度(は)から短文を讀(き)れをよ聞(き)聞(き)終(つ)わ(る)言(い)を

をやる、

ラーメンも カレーライスも(と)き

基準: サ行 (が)物(の)をやる カレーライチュ(も)も(き)

が行 (き)

その他 ダーメン カレーダイス

側音(横)ら空(気)物(たる)

言(わ)終(つ)わ(る)言(い)出(で)余(り)分(分)話(話)を(き)憶(憶)られ(る)憶(憶)られ(る)場合 (少)言(い)も (可)

5質問

視点: 意味の捉 共通認識

その質問する(答)

園(折)り紙(の)時(間)も(も)先(生)が(忘)れ(る)折(り)紙(を)も(ら)せ(る)か

幼稚園(幼稚園)の子(途)中(中)で(影)や(道)や(気)が(通)

基準: 先生言(い)自分(は)走(る)お母(に)言(い)急(ぐ)ら(等)常識(的)も(論)理的(な)答(を)

悲(泣)け(る)食(ら)れ(る)を(答)か

忘(れ)心(早)起(る)等(を)答(え)か

話(飛)躍(か)他(者)も(か)答(え)か

6結果題

視点: 終了。ルール(の)理解 手先(の)器用(な)リズム

最後に私(は)ちゃん(が)は(る)

基準: ちゃん(が)は(る)勝(負)を(理)解(する)か

最後に(気)なる場合(は)母(と)少(話)を(結)果(を)伝(え)フ(ォ)ロ(ー)を(する)

他(母)の(態)度(母)子(関)係(姿)勢(落)着(養)体(状)況(気)なる(を)記(入)する

個別支援計画作成経過

保護者からの相談
健診・相談フォロー児

要観察

要精検

要治療

治療継続

市事業
母と子の
遊びの
教室

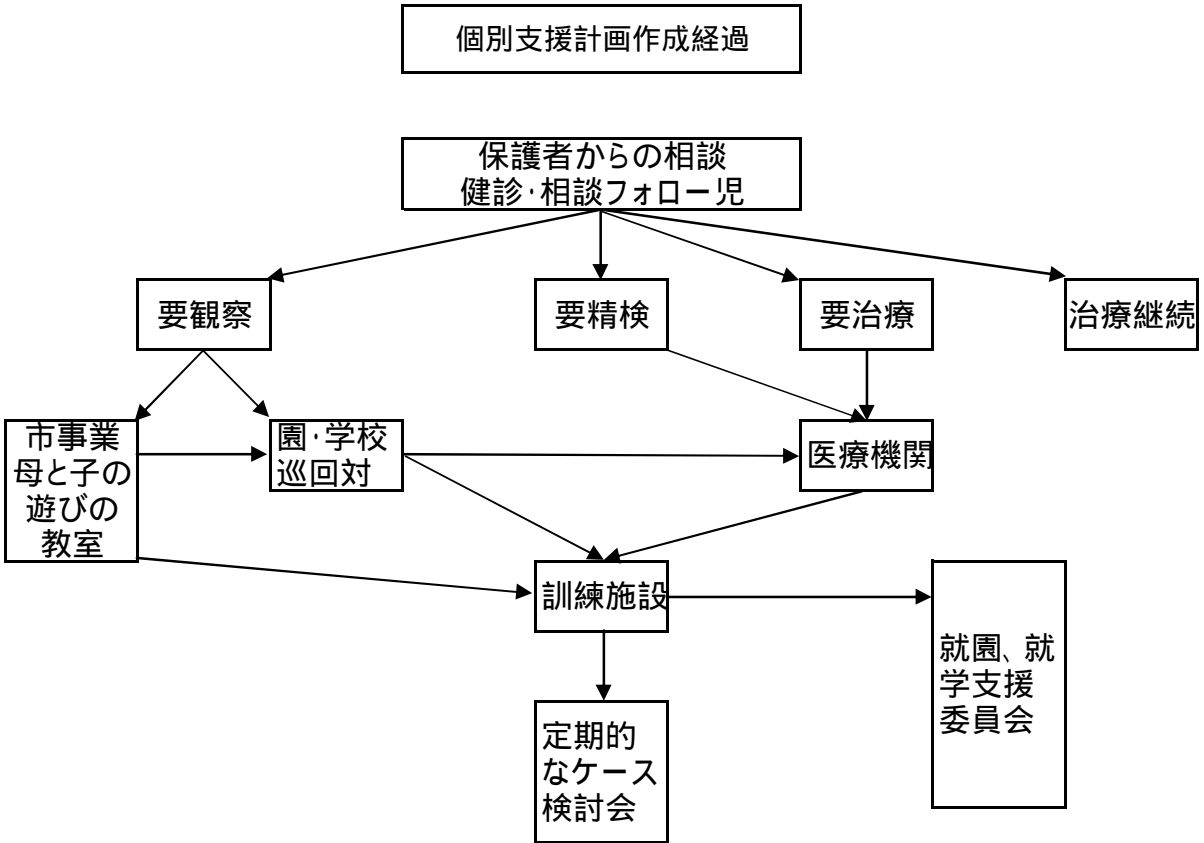
園・学校
巡回対

医療機関

訓練施設

定期的
なケース
検討会

就園、就
学支援
委員会



おたずね

記入者(母 父 その他)

* わからないところは、保育園や幼稚園の先生にきいて記入してください。

1.リズム体操やスキップなどができる。	1. はい ・ いいえ
2.片足でケンケンができる。	2. はい ・ いいえ
3.自動車・花など思ったものを絵にする。(それらしく見えればよい。)	3. はい ・ いいえ
4.行事など経験したことを絵にする。(それらしく見えればよい。)	4. はい ・ いいえ
5.説明を聞きながら、折り紙が折れる。	5. はい ・ いいえ
6.物語や絵本の読み聞かせを聞いて、内容の理解ができる。	6. はい ・ いいえ
7.同年齢の子ども何人かで会話ができる。	7. はい ・ いいえ
8.家ででの会話の中に、お友達の名前が何人か出る。	8. はい ・ いいえ
9.自分の作ったり描いたりした物を見せたがる。	9. はい ・ いいえ
10.親から離れる時、親に行き先を言える。	10. はい ・ いいえ
11.お母さん以外の身近な大人(例:お父さん、祖父母)とよく遊べる。	11. はい ・ いいえ
12.自分の好きな遊び等を中断されることをとても嫌がる。	12. はい ・ いいえ
13.気になるくせや、行動がある。	13. はい ・ いいえ
14.危険なもの、危険な場所がわかる。	14. はい ・ いいえ
15.大便を一人でできる。(おしりを拭ける。)	15. はい ・ いいえ
16.手洗いの意味がわかり、自分で上手に手を洗う。	16. はい ・ いいえ
17.自分で歯みがきをしていますか？	17. はい ・ いいえ
18.親が仕上げみがきをしていますか？	18. はい ・ いいえ ・とても嫌がる
19.色々な食品を食べようと、嫌いなものも食べようと努力する。	19. はい ・ いいえ
20.箸を上手に使って、こぼさず食べられる。	20. はい ・ いいえ
21.食事前後のあいさつができる。	21. はい ・ いいえ
22.決められた時間に食事、おやつを取ることができる。	22. はい ・ いいえ
23.おやつのは回数は保育園のおやつを含めて...(1回 ・ 2回 ・ それ以上)	
24.家庭での牛乳の量は一日に...(ml)	
25.牛乳・お茶以外の水分は...(を ml) (を ml)	
26.朝ごはんは…毎日食べる ・ 時々食べる ・ ほとんど食べない	
27.家族が一緒にごはんを食べていますか？ a. ほとんど一緒 b. 子ども達だけで食べる人が多い c. その他()	
28.眼が悪いという心配…ない ・ ある()	
29.耳が悪いという心配…ない ・ ある()	
30.子育てについて a. 楽しい b. 普通 c. 大変 d. 困っている c. 不安がある	
31.最近のお母さんの心の状態に一番近い表情に をしてください。 a. b. c. d. e. f.	

前日の1日の生活の様子と食事について、記入して下さい。

午前	1	2	3	4	5	6	7	8	9	午後	4	5	6	7	8	9	10	11	12

朝食	()	昼食	()	夕食	()
----	-----	----	-----	----	-----

	はい	時々
33. ことばの数は多いのに、会話として成り立たないことがある。		
34. 聞いていることに答えず、分かっているのか分からないのか判断ができないことがある。		
35. 決まり切った言い回しや、独特の言葉を言っていることがある。		
36. 話し言葉が、独特の抑揚やイントネーションで話す。		
37. 身振り手振りを交えながら話をするのが少ない。		
38. 大人が使うようないいまわしの言葉を使う。		
39. 含みのある言葉や、冗談もそのまま言葉どおりに受け止めてしまうことがある。		
40. 「あれとって」「これとって」と指さしたのも、なかなか見つけ出せない。		
41. 友だちとままごとあそびや“ごっこ”遊び、物まね遊びなどをあまりしない。		
42. お遊戯など、みんなと同じようからだを動かすことが苦手である。		
43. 行動や考えにこだわるために、次の行動に移れないことがある。		
44. ABCのアルファベットや数字、文字などに特に興味を示して覚えている。		
45. 駅名や車名など、特定の分野に関して驚くほど暗記していることがある。		
46. 常に臭いをかくなどの行為が見られる。		
47. 特定のものの感覚刺激(砂や泥など)を嫌がる。		
48. 耳に手を当てて特定の音を特にいやがったり、怖がったりすることがある。		
49. 好き嫌いが多い。		
50. 遊びのル - ルを理解できないときがある。		
51. 運動会や発表会など新しい場面や、人の多い場面等を嫌がる。		
52. お友だちと手をつないで歩くことを嫌がる。		
53. 「サ」行が「タ」行になるなど、発音がはっきりしないところがある。		

集団生活でご心配なことがあったらお書きください。

今までに相談したことがある。有の場合

児童相談所

専門医療機関()

精神保健福祉センター・保健所

園巡回相談 つくし園

相談の結果、継続的にフォローを受けている。有の場合

児童相談所

専門医療機関()

精神保健福祉センター・保健所

園巡回相談 つくし園

別紙 7 - 2 は保護者あて通知に同封します。通知は通園している園を通じて配布。通園先が不明な場合は郵送します。

【駒ヶ根市 別紙 7 - 1】

教子～連絡

平成 年 月 日
保護者様
駒ヶ根市長

5 歳児すこやか健康診査のお知らせ

5 歳児を対象に健康診査及び相談を下記の日に行います。ご都合が
ご出席
5 歳児健康診査は、お子さんの発達特性を知り、それに対し必要に応じて見守りや適切な支援を考へるもの。保護者の皆が理解
協力による開催

記

1. 健診日 平成 年 月 日 ()
2. 集合時間 午後 1 2 時 3 0 分 本校
番号は午後 1 2 時 出発時間前母子手帳を置いてください
3. 場所 保健センター 1 階 乳幼児指導室
4. 持ち物・母子健康手帳
・ 5 歳児健康診査票 ・ 5 歳児健康診査票 (園生活/集団活動用)
・ 保育園の出席ノート・歯科
お子の歯ブラシ
お子の上履(夏場の場合 裸足でもよい)
お子のハンカチを持参
5. 当日の流れ
・ 受付 集団で課題遊び・個別で発達検査(親見学) 問診(親対応) 歯科相談
内科診察 個別相談(内容等は別紙をご覧ください)
6. その他
おがき大豆・ピーナッツアレルギーのある方は連絡
健診会場おがき大豆アレルギー
当日は健診よりも時間かまじり

問 合 せ : 駒ヶ根市教育委員会 子ども課 ☎ 8 3 - 2 1 1 1 (内線 7 1 3 ~ 7 1 5)

発達特性について

子どもさんにこんな様子がみられたら…。

「多動」「落ち着きがない」「言うことを聞かない。」

以下のことをまず確かめてみましょう。

例えば…。

・耳の聞こえは悪くないですか？

・視力は両眼とも日常生活に支障がないようにできていますか(矯正されていますか)？

集団に入ったとき、耳の聞こえが悪いと先生の話も聞きにくくなり、何を話しているかわからなければ当然集中も続かず落ち着きもなくなります。視力についても同じことがいえます。

・からだはしっかりできていますか？

姿勢の保持が一定の時間できるだけ筋力が育ってないとふにゃふにゃしたり、そわそわしてしまいます。

・からだの使い方はどうでしょう？

からだの使い方が思うようにいかず、鉄棒やバランスが不得手な子もいます。からだの動きを止めなくてはいけない場面で止められず、道路への飛び出しなど危険回避が苦手なお子さんもいます。

ほかにも…。

「会話がかみ合わない」「あそびのルールが理解しにくい」など、人とのかかわりに苦手さを持っているお子さんもいます。

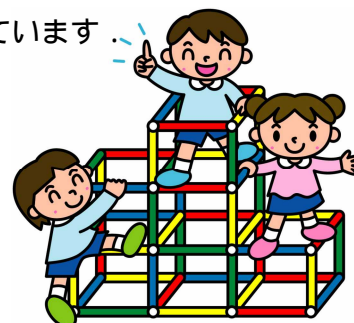
「言うことを聞けない」「落ち着きがない」「人とのかかわりが苦手」などの特性は、周囲の適切なかかわり方により改善されることがあります。叱られることが多かったお子さんの苦手な部分を周囲の大人が理解し、適切な対応がわかると、お子さんも自信をもって生活できるようになることがだんだんにわかってきています。

上記のようなお子さんは決して理解力の問題ではありません。

もちろんしつけの問題でもありません。

一昔前と違い、そのようなお子さんへの支援の方法がすこしずつわかってきたこともあり、家族、学校や保育園の先生方に医療の専門家も加わってどういう支援をすれば、そのお子さんが集団の中で自信を持って生活できるか応援できる体制が整いつつあります。そのきっかけのひとつが5歳児健診です。

お子さんの得意な部分、苦手な部分を客観的にみてお子さんが自信を持って生活できるよう、思春期まで見通しをたてながら今できることから応援できたらと考えています。



健診の主な内容



全体を通して

- ・社会性 ルールや理解 イメージ 状況判断
からだの使い方や筋力 バランス
聞こえや見え方等全体の発達にかかわる健診です。
- ・家や園とは違ったなれない場所での健診ですので、あらかじめ流れなどわかる情報をお子さんに話しておく（予告する）ことも大切です。

集団あそび：集団の中で保育士がいろんな遊びをします。みんなと一緒にやってみましょう。

- ・「絵本の読み聞かせ」 お話をききましょう。
着席を要求されている場面での様子や集団の中でお話を聞く様子。
- ・「インタビュー」 自己紹介をします。（園名 なまえ）
集団の中でお友達の自己紹介を聞ける 順番を待つことができる
- ・「フルーツバスケット」 あそびのルールを理解する
あそびのルールを理解して集団の中で友達と遊ぶことができるか。
- ・「リトミック」
集中して音楽を聴き、音楽に合わせて動けるか、あるいはからだの動きを止められるか。
- ・「サーキット」 運動機能 バランス 筋力
順番を待つなど集団の流れに乗りながら、からだの使い方はどうか。

個別検査：見る 聞く 話す 書くを中心に 1対1で簡単な発達検査をします。

「K式」という検査を簡略化したものを使っています。

言語聴覚士 臨床心理士 作業療法士 教育相談員が検査にあたります。

健診後のフォロー体制について

巡回相談：市内の各保育園 幼稚園には定期的に臨床心理士・言語聴覚士・作業療法士が巡回相談に回っています。5歳児健診では慣れない場所での健診ですので、当日の総合判断で必要なお子さんは園での様子を見たり、必要な検査をしながら保護者、保育士ほか関係スタッフと一緒に必要な支援を考えたり、生活面や接し方の相談に応じています。

病院への受診：必要なお子さんは、受診になります。受診後必要なお子さんには、病院での指示をもとに生活面や接し方の相談に応じています。

集団訓練：訓練の必要なお子さんは、小グループでルールを守りながら行動したり、からだを作りながら、園の大きな集団でもスムーズに活動できるような訓練に参加していただいています。言語聴覚士・作業療法士・理学療法士・保育士が年齢に応じた訓練にあたっています。訓練に参加しているお子さんについては、上記の専門職が家や保育園での工夫や対応を保護者や園と一緒に考えていきます。



5 歳児健診「課題あそびチェックポイント」

1. あそび全体を通して

- 先生の指示に従えるか？
- 集団に入ってもらえるか？

2. 絵本の読み聞かせ・・・お話を聞く態度を見ます。

- 集団の中で座って聞いてもらえるか？
- 静かに聞いてもらえるか？

3. インタビュー・・・自分で話す

- 聞かれたことに答えられるか？
- 聞かれるまで待ってもらえるか？
- 発音
- 座ってもらえるか？
- 座る姿勢はどうか？

4. フルーツバスケット・・・理解力を見ます。

- あそびのルールを理解して動けるか？

5. リトミック・・・集中できるか見ます。

- 音楽を聞いて止まれるか？
- 音楽が止まったとき静止してもらえるか？
- ルールを理解し、流れに乗れるか？

6. サーキット・・・全体を通して運動機能・平衡感覚・筋力を見ます。また、順番を待つことができるか？集団の流れに乗れるかも見ます。

紐（ロープ）渡り

- 全身のバランスを取って、つぎ足歩行ができるか？

イス・机くぐり・・・自分のボディイメージを持っているかが分かります。

- 高さにあったかがみ方で、障害物を通れるか？

鉄棒（ツバメの姿勢）・・・全身のバランス・筋力・握る力が分かります。

- 10秒姿勢を保持できるか？

ケンケンパ・・・バランス保持・瞬発力・筋力など

- 上手にケンケンパができるか？

診察場面では・・・医師がカンファレンスを受けてどんな診察をしているかみてください。また、診察介助のスタッフからは事前に医師に説明をしますが、園長先生からもあそびの場面で特に気になったお子さんの情報を事前に医師に伝えていただくとありがたいです。診察の場面と様子が違ってしまいう場合もありますので、よろしくお願ひします。また、自分の園のお子さんで特につなげてほしいお子さんがいたら、ぜひ園での様子もお話していただくとありがたいです。（ただし時間に限りがありますので、手短にお願ひします。）

平成 年 月 日

該当保護者殿

清内路村長

5歳～6歳児(保育園年長児)検診の実施について(通知)

近年、子供達をとりまく社会環境等の変化から、今までの乳幼児検診の乳児期から3歳・4歳までの関わりのみならず、保育園児の発育発達を、よりきめ細かに支援する必要性が問われる状況の中、今回乳幼児検診に合わせて年長児検診を下記により実施することになりました。趣旨をご理解の上、時間内に受診して下さい。

記

1. 日 程 月 日()午前9時15分受付 場所 老人福祉センター
内科検診・個別相談及び・育児懇談会
診察・・・ 健和会病院小児科 和田浩先生
 2. 対 象 保育園年長児
 3. 持ち物 母子手帳及び同封の5歳児健康診査票に記入の上持参下さい。
 4. その他
 - 1) 和田先生を囲んで育児懇談会を予定しています。話題にしたい事がありましたら事前に連絡いただければ幸いです。
 - 2) 子供さんは、検診終了時に保育士さんが保育園から迎えに来て下さる事になりました。保護者の方は都合つけて懇談会に出席して下さい。
 - 3) 心理判定員の丸山さんによる育児相談を 月 日()午前9時30分から保育園においで行ないます。一寸した育児の悩み・相談に応じます。お気軽に相談下さい。相談のある方は、事前に役場保健師まで連絡頂ければ時間を調整します。
- *丸山さんは午前9時30分～昼頃まで保育所の子供さんの様子を見て下さいます。相談はその時間内に調整します。

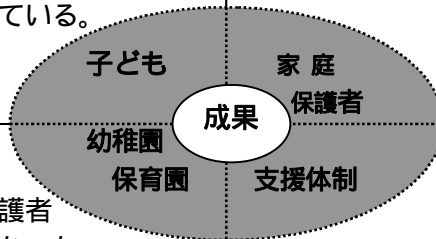
【清内路村 別紙3】

【清内路村 別紙1】

【清内路村 別紙2】

各園巡回を通し、発達面の偏りや遅れ等から、集団生活に困難さを示す児の早期発見対応が出来た。
 KIDS 発達スケールにより、個々の発達プロフィール（運動・操作・言理言表・概念・社会・躰）の確認が出来た。
 乳幼児健診及び親子教室フォロー 児の継続観察につながった。
 子どもの姿を幼稚園や保育園と保護者双方での共通理解につながってきている。

事前調査より家庭環境、育児環境の把握と共に、生活リズム、生活習慣の乱れが見えてきた 確立に向け啓発（園便り・保育参観・子育てセミナー・日々のコミュニケーションの場）
 日常の子育てへの不安、悩みなど個々の保護者に対応（面接、電話、文書など）することで保護者の育児不安の軽減につながった。



日常保育の中で、個々の子どもの変化に目が向き早めに保護者との連携対応が図れるようになった。
 5歳児巡回を通し、集団生活に困難さの見られる児の対応アドバイスなどにより、見方や捉え方をかえることで気になっていた姿、行動が落ち着いてきた。
 担任の保育面での悩みや相談に対応することにより、保護者や子どもへの適切な対応、指導につながった。

3歳児までの乳幼児健診に継続支援体制が出来た。
 5歳児事業フォローアップの場としての「すこやか教室」開設（小集団療育・SST）
 就学に向け、個別配慮、個別支援を必要とする児の個人票送付により、入学前に学校との連携がとれた。
 スタッフの定期的な園巡回により、子育て情報を共有する中で、子どもは勿論、保護者の支援にもつながってきている。

課題と対応

保護者に子どもの実態を伝える難しさ	「親育て支援」をどうするか	就学支援
<p>集団生活の中での姿、行動の実態を保護者に伝え、理解してもらうことの難しさはあるが、繰り返し話す中で保護者との信頼関係をつくり一緒に児の最善の対応支援を双方で考えていくようにする。 児の共通理解の場としてプログラムを用意し、保護者に参観してもらう。</p> <p>21年度より 各園で「すこやか相談」開設を予定 保護者と専門スタッフの個別相談</p>	<p>家庭環境、育児環境の複雑さへの対応。</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子父子家庭の増、若年親子の増、育児能力の低下（衛生面・食事・愛情不足・生活リズム、生活習慣、躰面での問題）などに対応するための家庭における育児支援、親子支援 生活リズム、生活習慣の乱れ 確立に向け啓発（園便り・保育参観・子育てセミナーなど） <p>日常のコミュニケーションの中で、子育ての大切さや楽しさ、喜びを伝えていく。幼稚園、保育園 子育て講座などを開催し、参加呼びかけを積極的に行う。 不安定な精神状態で育児にあたる親の支援 保健師支援</p>	<p>園での集団観察の中で、グレーゾーンと言われる子どもの就学後の支援と対応。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年間の追跡観察・担任教諭との連携 <p>追跡結果よりまとめていれる。（3月中旬）</p>

【様式 3】

5 歳児健診（相談）の紹介

市町村名 須坂市

事業名	5 歳児すこやか相談事業
目的 (ねらい)	(1) 情動育成時期として重要な、乳幼児健診（3 歳児健診）以降就学までの子育て支援を行う。 (2) 発達障害児の早期発見と早期対応のために「子育て相談」や「教育相談」など適切な支援をしていく。
開始年度	平成 18 年 4 月～
対象	須坂市在住の該当年度満 5 歳になる 4 月 2 日～翌 4 月 1 日生れの幼児
実施場所	私立幼稚園（6）・保育園（4）・公立保育園（12）を定期的に巡回
スタッフ	教育相談員・家庭児童相談員・作業療法士・保健師 5 歳児すこやか相談コーディネーター・児童生徒支援係など
実施に至った経過	近年の社会情勢の大きな変化の中で、子育て、育児環境も大きく変化し、少子化、核家族化、情報過多とともに、非行の低年齢化、すぐキレる子ども、児童虐待、不登校、いじめなど幼児、児童の問題が多発し、養育の難しさを抱えてきています。 須坂市では、10 年余に亘る実践と長野県精神保健センターの研究結果や文科省の「発達障害者支援法」を踏まえ 0 歳から高校卒業までの子育て支援を充実するために、全体的にそして長期的な目で見えていくこと。（幼児期後期の子育て支援） 乳幼児健診では発見しにくい発達障害児の早期発見とその児が小学校就学以後も、その子に合った適切な教育を受けられるよう格別な方策を講じていくこと。（発達障害などの早期発見、早期支援、就学支援） 以上 2 点の必要性を大事に考え、「5 歳児すこやか相談事業」を実施。
実績 (19 年度もしくは 20 年度)	19 年度実績・・・別紙 A
資料	健診の流れと役割分担・・・別紙 1 フォローの対象（基準）・・・別紙 2 事後フォローの流れ・・・別紙 3 保護者用問診票・・・別紙 4 保育園、幼稚園用問診票・・・別紙 5 健診票（記録用紙、検査用紙）・・・別紙 6 保護者への説明用紙・・・別紙 7

<p>備考 (実施して良かった点、気づいた点)</p>	<p>《成果》</p> <p>1. 子どもにとって 各園巡回を通し、発達面の偏りや遅れ等から、集団生活に困難さを示す児の早期発見対応が出来た。 KIDS 発達スケールにより、個々の発達プロフィール(運動・操作・言理言表・概念・社会・躰)の確認が出来た。 乳幼児健診及び親子教室フォロー 児の継続観察につながった。 子どもの姿について、幼稚園や保育園と保護者双方での共通理解につながってきている。</p> <p>2. 保護者にとって 事前調査より家庭環境、育児環境の把握と共に、より生活リズム、生活習慣の乱れが見えてきた。生活習慣の確立に向け啓発(園便り・保育参観・子育てセミナー・日々のコミュニケーションの場)をしてきた。 日常の子育てへの不安、悩みなど個々の保護者に対応(面接、電話、文書など)することで保護者の育児不安の軽減につながった。</p> <p>3. 幼稚園・保育園にとって 日常保育の中で、個々の子どもの変化に目が向き早めに保護者との連携対応が図れるようになった。 5歳児巡回を通し、集団生活に困難さの見られる児の対応アドバイスなどにより、見方や捉え方をかえることで気になっていた姿、行動が落ち着いてきた。 担任の保育面での悩みや相談に対応することにより、保護者や子どもへの適切な対応、指導につながった。</p> <p>4. 支援体制面から 3歳児までの乳幼児健診に続く支援体制が出来た。 5歳児事業フォロー アップの場としての「すこやか教室」を開設できた。 (小集団療育・SST) 就学に向け個別配慮、個別支援を必要とする児の個人票送付により、入学前に学校との連携がとれた。 スタッフの定期的な園巡回により、子育て情報を共有する中で、子どもは勿論、保護者の支援につながってきている。</p>
---------------------------------	--

<p>備考 (実施して良かった点、気づいた点)</p>	<p>《課題》</p> <p>1. 保護者に子どもの実態を伝える難しさ 集団生活の中での姿、行動の実態を保護者に伝え、理解してもらうことの難しさはあるが、繰り返し話す中で保護者との信頼関係をつくり一緒に児の最善の対応支援を双方で考えていくようにする。 児の共通理解の場として活動プログラムを用意し、保護者に参観してもらい、事後 カンファレンスを兼ねた相談の場を設けていく。</p> <p>2. 「親育て支援」をどうする 家庭環境、育児環境の複雑さへの対応。 ・母子父子家庭の増、若年親子の増、育児能力の低下(衛生面・食事・愛情不足・生活リズム、生活習慣、躰面での問題)などに対応するための家庭における育児支援、親子支援 生活リズム、生活習慣の乱れ ・生活習慣の確立に向け啓発(園便り・保育参観・子育てセミナーなど) 日常のコミュニケーションの中で、保護者に子育ての大切さや楽しさ、喜びを伝えていく。 幼稚園、保育園 子育て講座などを開催し、参加呼びかけを積極的に行う。 不安定な精神状態で育児にあたる親の支援 保健師が支援にあたる。 次代の親となる中学生、高校生への啓発。</p> <p>3. 就学支援と入学後の対応 園での集団観察の中で、発達障害のグレーゾーンと考えられる子どもの就学後の支援と対応。 各小学校へ配布してある入学後の児の追跡調査をまとめる。(3月初旬頃)</p>
---------------------------------	--

健診(相談)に使う、用紙などの関係資料も合わせて提出をお願いします。

平成19年度 5歳児すこやか相談事業実施報告

別紙A

平成20年3月3日
教育委員会 子度も課

対象者

- 須坂市に住民票がある平成14年4月2日～平成15年4月1日生れの幼児(487人)
 - ・私立幼稚園(6園・125人) ・私立保育園(4園・55人)
 - ・公立保育園(12園・296人) ・管外幼稚園・保育園(8園・11人)

個別相談状況

- 小児精神科医 4人/内3歳児1人
- 臨床心理士 5人
- 教育相談員 6人/内3歳児1人
- 家庭児童相談員 1人
- 栄養士 4人
- 保健師 1人
- すこやか相談コーディネーター 4人

(1)実施状況 (対象児 a 487人)

	アンケート提出人数		相談記入人数		巡回観察人数		要継続支援児		延べ巡回回数
	b	b/a	d	d/a	f	f/a	g	g/a	
保護者	457	93.8%	79	16.2%					107回
(全体)					207	42.5%	71	14.6%	
担任	474	97.3%	147人	30.2%					

(2)巡回対応状況

(単位 人)

合計	在籍対象児数	巡回観察人数	保護者(おたずね票)				担任			要継続支援児							合計
			回収枚数	対応方法			回収人数	調査票相談数	巡回対応数	認知操作	対人行動	言語	食事肥満	障害	家庭環境	KIDSその他	
				面接	電話	お答え											
487	207	457	13	4	72	79	474	147	147	19	24	9	3	6	7	3	71

巡回観察人数は担任・保護者の事前調査書において相談・チェック項目のあった児の人数。

(3)相談内容(複数回答あり)

	項目	人数	率%	備考(主な相談内容)
保護者	1.身体・健康面	21	21.0	発育の遅れ・持病
	2.対人・行動面	24	24.0	社会性・友達関係・あそび
	3.言語・認知面	15	15.0	言語表出・言語理解・手先の巧緻
	4.食事面	9	9.0	好き嫌い・偏食・肥満
	5.躰	22	22.0	躰・言葉使い・誉め方・叱り方
	6.その他	9	9.0	癖・その他
保育士	1.身体・健康面	36	8.1	発育の遅れ・持病
	2.対人・行動面	142	31.8	社会性・友達関係・あそび
	3.言語・認知面	144	32.2	言語表出・言語理解・手先の巧緻
	4.食事面	15	3.4	好き嫌い・偏食・肥満
	5.家庭環境	81	18.1	家庭環境・養育面の心配
	6.その他	29	6.5	KIDS ・乳幼児健診フォロー児・心理

保護者

担任

6歳児巡回まとめ

1. 巡回対象児・・・18年度5歳児すこやか相談事業で継続支援・継続観察の必要な6歳児 70人
(平成13年4月2日生～平成14年4月2日生れの年長児)
2. 18年度5歳児すこやか相談事業の巡回記録をもとに、教育相談員・家庭児童相談員
児童生徒支援係企画員などで各園を巡回。経過観察、助言指導を行う。
3. 巡回状況・・・22園 47回
4. 個別相談状況
 - (1) 市就学指導教育相談・・・7人
養護学校1人・知的障害学級5人・情緒障害学級1人
 - (2) 個別相談
小児精神科医 1人
臨床心理士 1人
教育相談員 5人
家庭児童相談員 2人
栄養士 4人
保健師 2人
すこやか相談コーディネーター 1人
(医療機関紹介 2人)
5. 入学後、何らかの方法で個別配慮や支援、継続観察の必要な児の個人票を作成し、
学校との連携を図っていく児・・・55人

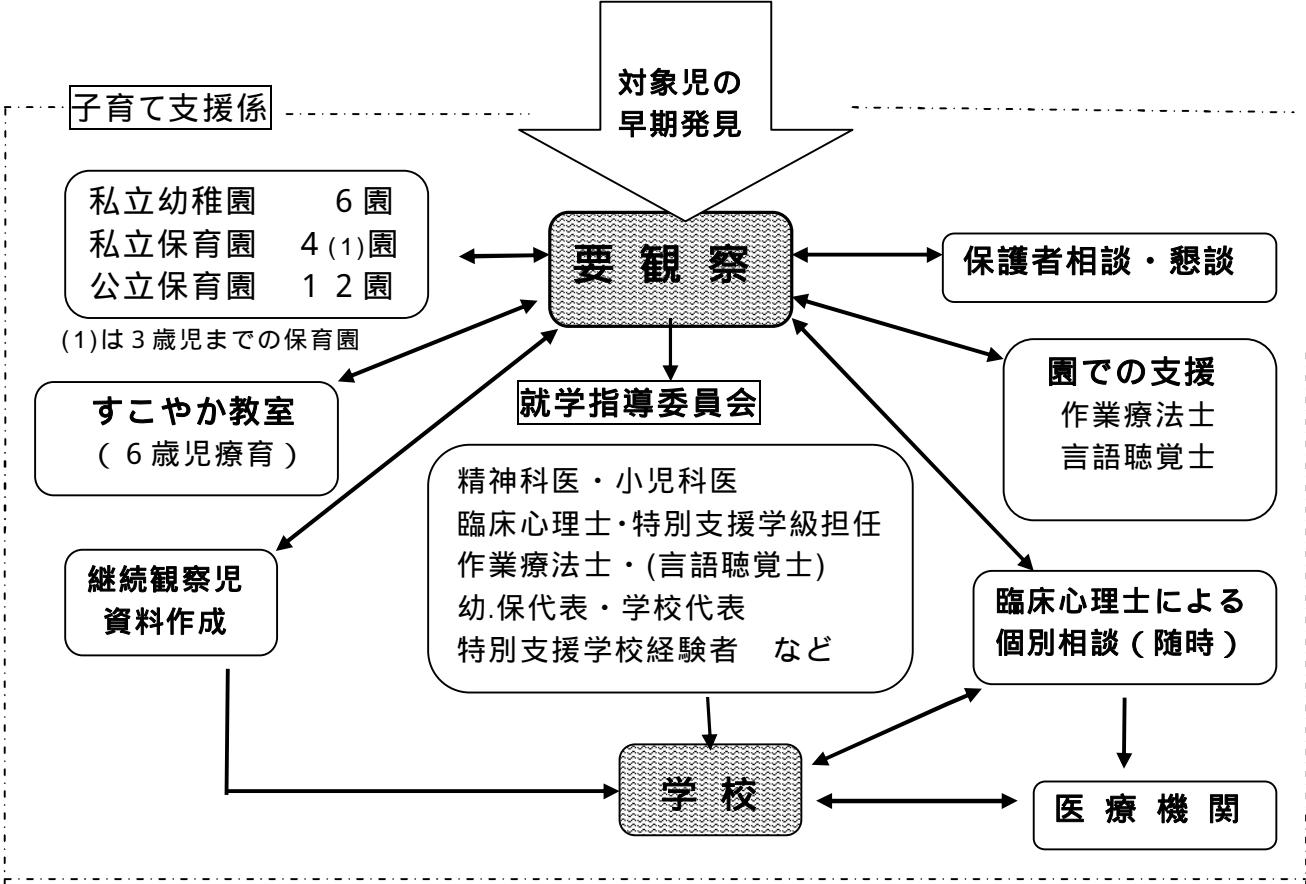
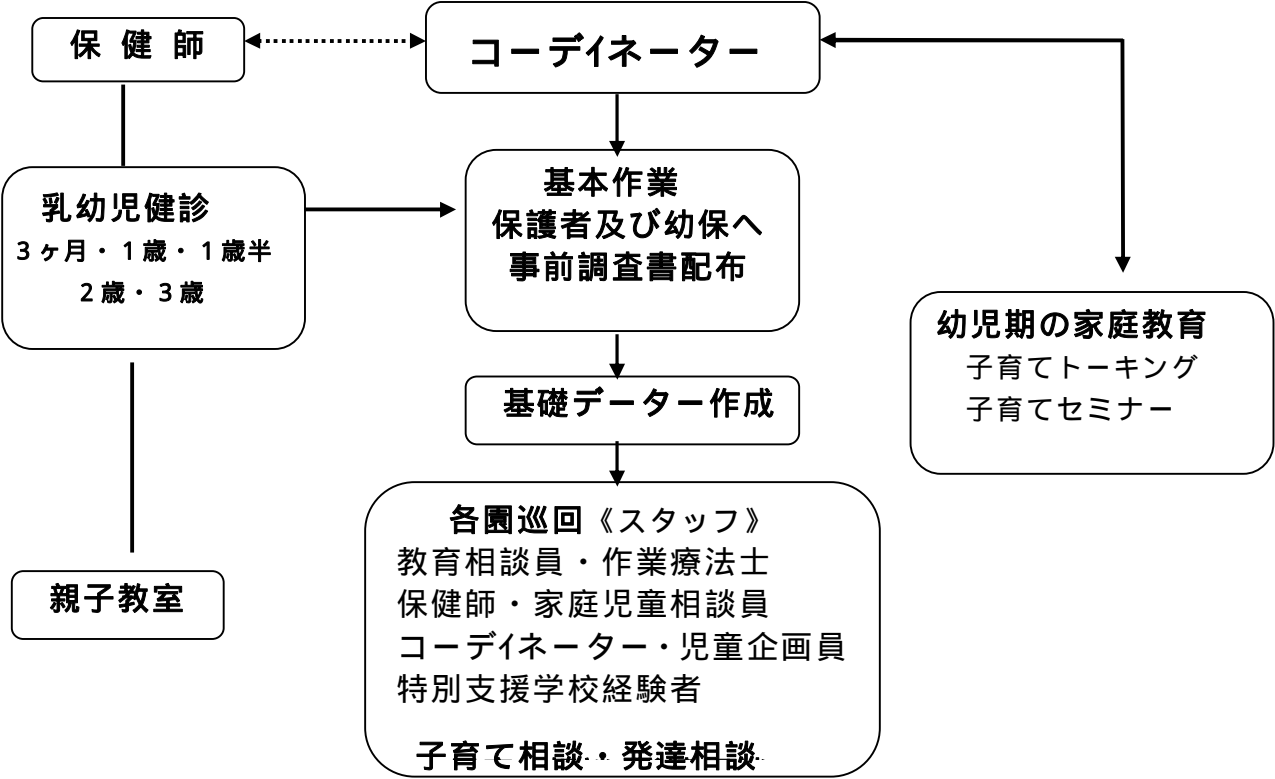
継続観察を要する児(55人)の内容(観察事由は一人につき複数項目あり)

	項目	人数 a	a/事由 総数84
1	理解・認知・操作	22	26.2%
2	対人・行動	31	36.9%
3	言語	9	10.7%
4	肥満・内部疾患	7	8.3%
5	障害(知的・身体・発達障害等)	6	7.1%
6	家庭環境	9	10.7%

5歳児すこやか相談事業

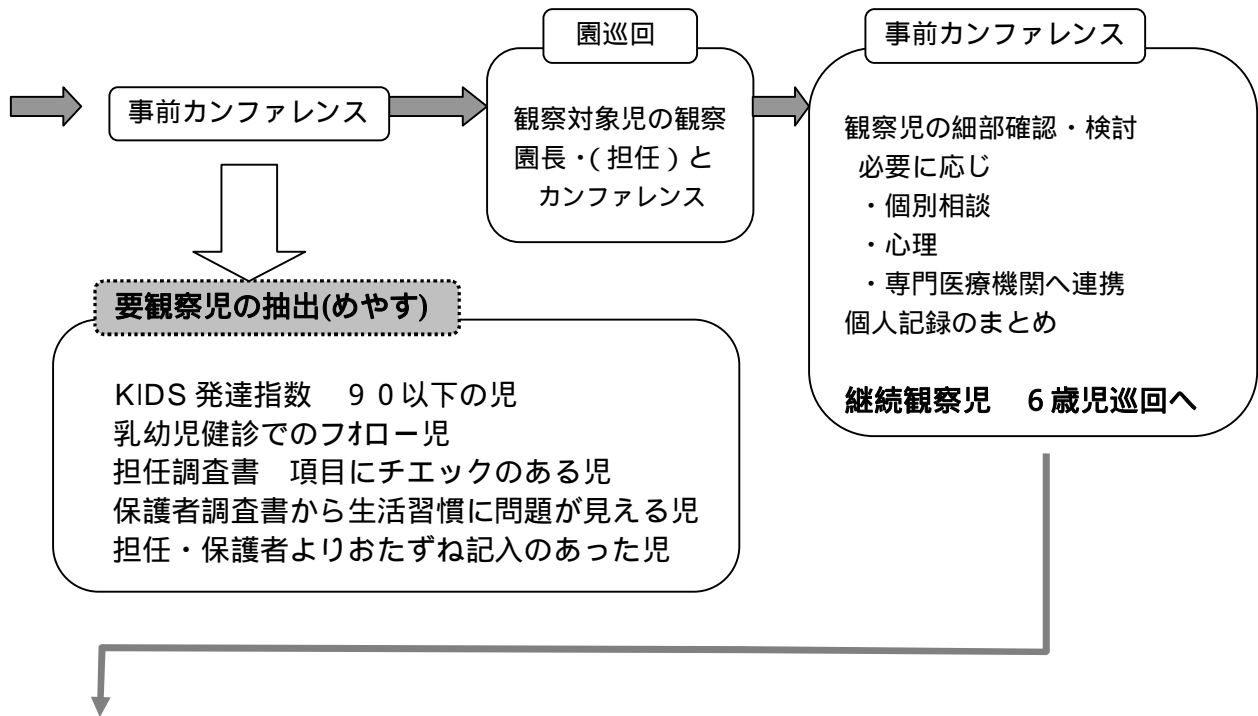
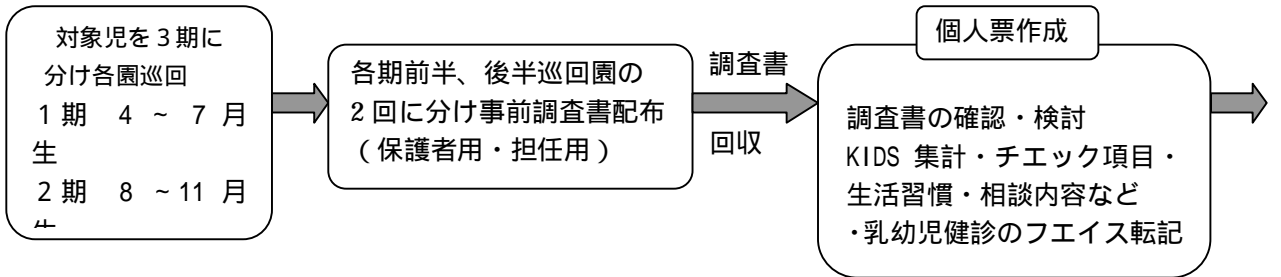
別紙 1

教育委員会子ども課

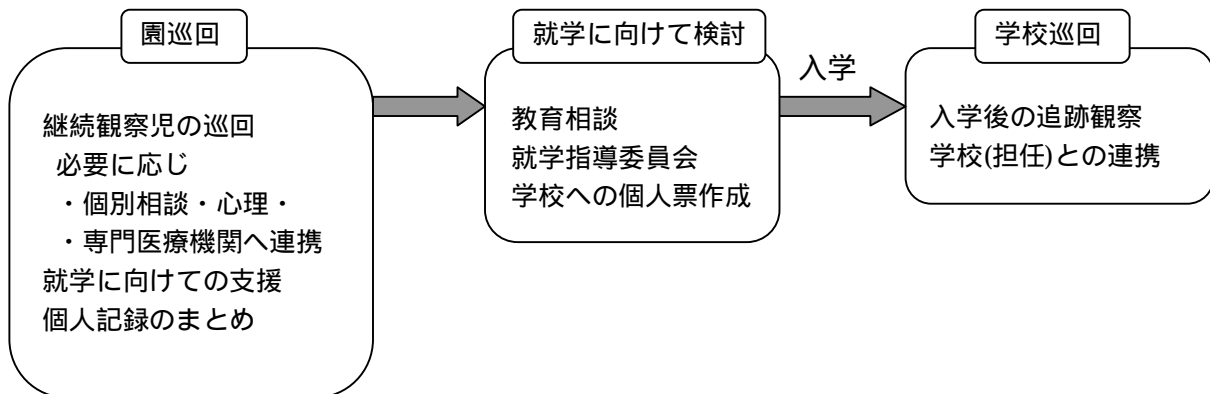


健診の流れ・フォローの対象(基準)・事後フォローの流れ

5 歳児巡回



6 歳児巡回





園名	園児名	保護者/ 父 母 その他			記入者名
		電話番号	家 族	父・母・兄(人)・姉(人)	
住所				弟(人)・妹(人)・祖父・祖母・その他	

下記項目を読んで『明らかにできるもの 過去においてできたもの やったことはないがやらせればできるもの』の番号にのみ、 をしてください

- [運 動] 1. でんぐりかえりができる。
2. 片足ケンケンができる。
3. 片足で5秒間位立っていられる。(動いても良い)
4. つま先立ちで、後に歩くことができる。
5. ブランコを立ち乗りで大きくこぐことができる。
- [操 作] 6. ハサミで紙を直線に切る。
7. まねて十字が書ける。
8. ハサミで簡単な形を切る。
9. 自動車、花など思ったものを絵にする。(それらしく見えればよい)
10. 20ピースのジグソーパズルができる。
11. カセットテープデッキを操作できる。
- [言語理解] 12. 次の品物の用途がすべてわかる。(くし・帽子・鏡・カップ・鉛筆)
13. 何度も聞いた童話などの一文を覚えている。
14. 『おなかですいたらどうする?』という質問に正しく答える。
15. 10まで数えられる。
16. 目と耳は両方ともどんな働きをするか知っている。
17. 歌が10曲以上歌える。
18. 指の数がいくつあるかを知っている。
19. わからない字があるとたずねる。
20. 5以下の足し算ができる。(1+1、1+2など)
- [言語表出] 21. 見聞きしたことを親に話す。
22. 遊びながらよくしゃべる。
23. 絵本を見ながら楽しそうに一人でしゃべる。
24. 両親の名前が言える。
25. きゃ、きゅ、きょなどはっきりと発音できる。
26. 幼児語を使わない。
27. 昨日のここの話ができる。
28. 自分の発音がまちがっていた時、修正できる。
29. しりとり遊びができる。
30. 曜日をすべて言える。
- [概 念] 31. 『汚い・きれい』がわかる。
32. 『良い・悪い』がわかる。
33. 『硬い・軟らかい』がわかる。
34. 『約束』がわかる。
35. 『強い・弱い』がわかる。
36. 『勝ち・負け』がわかる。
37. 『太い・細い』がわかる。
38. 『くやしき』がわかる。
39. 『厚い・薄い』がわかる。
40. 『右・左』がわかる。
41. 『親切』がわかる
42. 『成功』がわかる。
- [社会性] 43. テレビの主人公遊びをする。
(対子ども) 44. 友達を家に誘う。

〔裏面へ続きます〕

- (対成人)
45. 自分に出来ない工作など、親に作れとせがむ。
 46. 『やってもいい?』と許可を求める。
 47. 自分が作ったものを見せたがる。
 48. 誉められるともっと誉められようとする。
 49. 公園などで知らない人にいたずらを注意されたらすぐにやめる。
 50. 交差点の信号をみて正しくわたる。
 51. 親に行き先を言って遊びに行く。

- [しつけ]
52. 自分でパンツを脱いでオシッコをする。
 53. ズボン、スカートを自分で脱ぐ。
 54. 口をすすぐことができる。
 55. 顔を洗っても泣かない。(シャンプーハット使用を含む)
 56. 箸が使える。
 57. 夢中になって遊んでいても『おもしろ』はしない。
 58. 自分でパジャマが着られる。
 59. 自分で体を簡単に洗える。
 60. ジャンパーなどの上着を自分で着る。
 61. 自分でトイレに行きほとんど親の手を必要としない。
 62. 食事の時、親が許可するまで待ってられる。
 63. 顔を自分で洗う。
 64. 脱いだあと、服をたためる。
 65. 自分で大便の後、おしりが拭ける。
 66. 歯みがきを自分からやる。
 67. 入浴後、体を自分で拭く。
 68. 食器を洗い場へ持っていくなど、食事の後かたづけを手伝う。
 69. 寝る前に自分からトイレに行く。

下記の各項目について、記入又は該当項目に をしてください。

1. 起床・就寝時間について 起床 (時 分) 頃 就寝 (時 分) 頃
起床時間が7時過ぎになる理由
就寝時間が10時過ぎになる理由
2. 食事は三食きちんと食べていますか。 はい 朝食をとらないことが時々ある
3. 食べ物の好き嫌いについて あまりない 好き嫌いが多い
特に嫌いなものは?
4. テレビ(ビデオ含む)を1日どのくらい見ますか。
 2時間以内 2~3時間 3時間以上 見ない
テレビ視聴時間が3時間以上になる理由
5. 絵本を読んであげますか。 毎日 週2~3回 ほとんど読まない
 に のついた理由は何故ですか?
6. 現在子育ては楽しいですか。 楽しい 時々楽しくない 楽しくない
 に のついた理由は何故ですか?

心配ごとや相談したいことがありましたら、記入してください。

園名	組名	園児名	性別	生年月日	記入者名	記入日
			男・女	年 月 日		/

下記項目を読んで『明らかにできるもの 過去においてできたもの やったことはないがやらせればできるもの』の番号にのみ、 をしてください

- [運動] 1 滑り台を仰向けになって滑り降りることができる。
 2 転がって動いているボールを捕まえることができる。
 3 20m位、スムーズに全力疾走できる。
 4 園にあるジャングルジムの頂上まで登れる。
 5 ブランコに立ちのりができる。
 6 スキップができる。
 7 子ども達だけでリレーあそびができる。
 8 ボールを3回位ドリブルできる。
 9 ジャングルジムの中で地面に足をつかずに追いかけることができる。
- [操作] 10 自分でのりをつけて、紙をはる。
 11 人などを描く。
 12 クレヨンで色を使い分けて絵を描く。
 13 砂場で砂山にトンネルを通す。
 14 クレヨンと絵の具を使い分ける。
 15 経験したことを絵にする。(それらしく見ればよい)
- [言語理解] 16 友達の名前がわかる。
 17 ひらがなで書かれた自分の名前がわかる。
 18 なぞなぞ遊びができる。
- [言語表出] 19 同年齢の子どもと二人で会話ができる。
 20 同年齢の子ども何人かで会話ができる。
- [社会性] 21 ままごと遊びで何かの役を演じる。
 (対子ども) 22 ブランコなど自分から順番を待つ。
 23 砂場で2人以上の子どもで一つの山をつくる。
 24 かくれんぼで見つからないようにする。
 25 グループが一つとなつてごっこ遊びができる。
 26 グループの中で妥協しながら遊ぶ。
 27 小さい子の世話をする。
 28 おにごっこのルールがわかる。
 29 2～3人でないしょ話をする。
 30 紅白の競技で勝敗がわかる。
 31 ジャンケンで順番をきめる。
 32 禁止行為をした子どもに注意する。
 33 シール、人形などを友達と交換する。
 (対成人) 34 『おもちゃを貸してあげなさい』と言うと指示に従う。
 35 幼稚園や保育園の先生の指示に従う。

別紙 6 (両面印刷)

すこやか相談 個人票

園名〔

〕巡回日〔 年 月

日

園児氏名/ 生年月日/平成 年 月 日

乳 幼 児 健 診 特 記 事 項(妊娠分娩含む)

妊娠分娩	
3ヶ月	
1 歳	
1歳半	
2 歳	
3 歳	

(歳.ヶ月) 発達プロフィール 記入日月齢 (歳 ヶ月) (KIDSタイプC)

5・6	14	12	12	12	12	15		
5・3	13	11	11			14		
	12							
5 歳	11	10	10	11	11	13	9	18
		9					8	
4・9						12		
						11		17
						10		
4・6		8	9	10	10	9		
		7			9	8		
4・3	10		8	9		7		16
			7			6		15
4 歳		6	6	8	8	5		14
		5		7	7	4		13
								12
3・9	9	4	5	6	6	3	7	11
	8						6	10
								9
3・6	7							8
	6	4	5	5	5		5	7
	5			4	4			6
3・3	4			4			4	5
	3	3	3	3	3	2	3	4
	2	2	2	2	2		2	3
3 歳								2
	1	1	1	1	1	1	1	1
領 域	運動	操作	理解言語	表出言語	概念	社会/子ども	社会/成人	しつけ
得 点								
発達年齢	:	:	:	:	:	:	:	:
総 合	得点合計		発達年齢	歳	ヶ月	発達指数	(DQ)	

平成 21 年 1 月 8 日

年中児保護者様

須坂市教育委員会 子ども課長

5 歳児すこやか相談事前調査書(おたずね票)記入のお願い

須坂市では、平成 18 年 4 月から教育委員会子ども課において「5 歳児すこやか相談事業」を実施しています。

幼稚園、保育園に通園の年中児の子どもさんを対象に各園を巡回し、子どもさんの実情を把握し具体的に相談、支援を実施しています。

巡回時の参考のために、保護者のみなさんに別紙のような事前調査書(おたずね票)の記入をお願いしています。お忙しいところたいへん恐縮ですが、よろしくお願ひします。

記

- 1 平成 20 年度対象児は、平成 15 年 4 月 2 日生～平成 16 年 4 月 1 日生の園児です。
- 2 事前調査書(おたずね票)の記入、巡回は誕生月により、年間 3 期に分けて実施しています。(子どもさんの誕生月前後に記入をお願いしています。)
- 3 配付させて頂きました事前調査書(おたずね票)に記入の上、封をして締切日までに各園へ提出をお願いします。 **提出締め切り日 1 月 13 日(火)**
- 4 ご記入頂いたアンケートの取り扱いについては、子ども課担当が開封し、子育て相談の参考のみに利用させて頂くものですのでご了承ください。
- 5 ご記入頂いた子育てに関する「相談や、心配ごと等」については、お答え票(文書)、電話、面接などの方法で対応させていただきます。
- 6 各園巡回スタッフ(作業療法士・保健師・家庭児童相談員・コーディネーター 他)を中心に、あらゆる子育て相談に応じています。

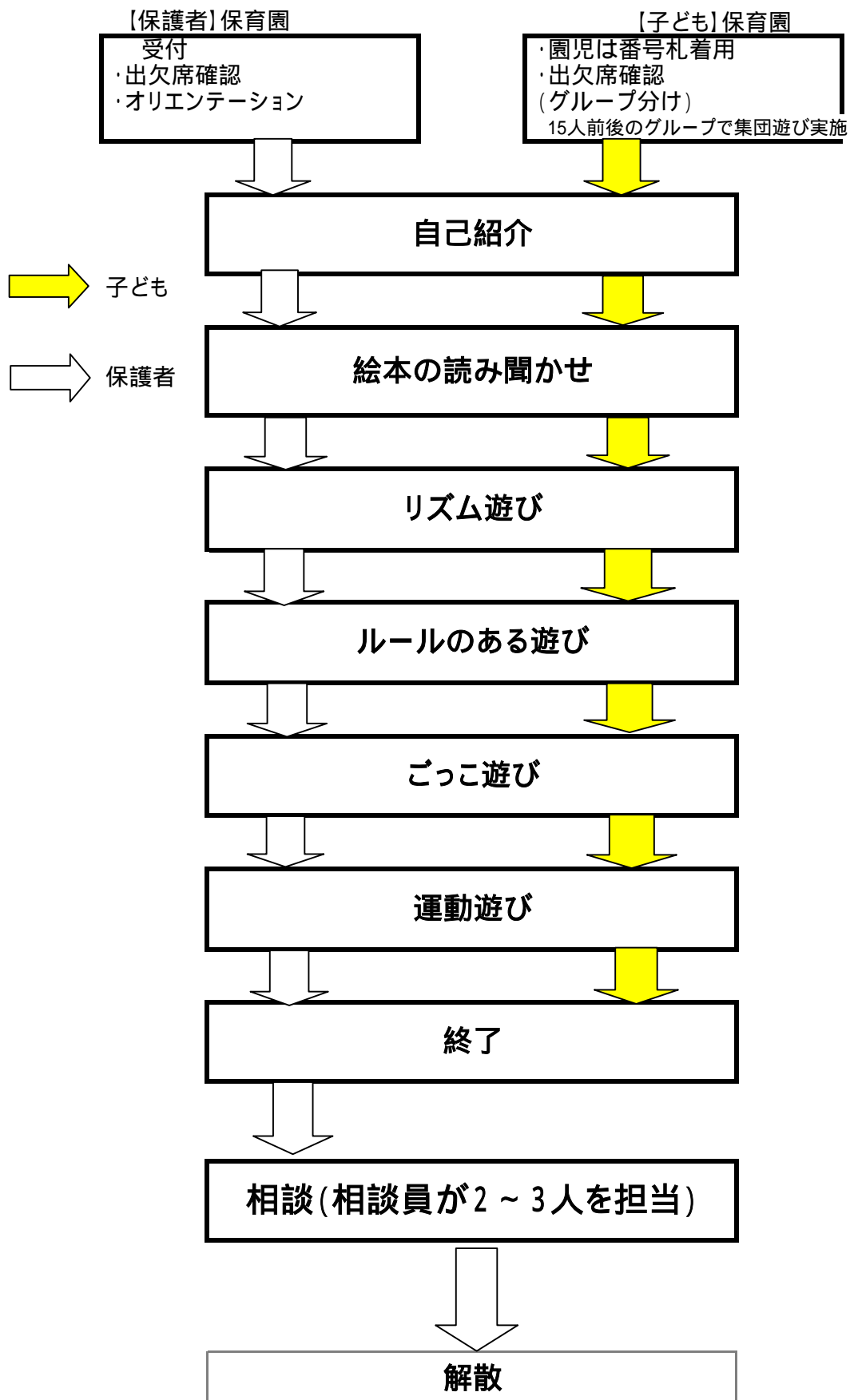
なお、巡回日に面接相談ご希望の場合は巡回日前日までに、各園の園長先生にお申出ください。

担 当	子ども課 子育て支援係
	中澤 公明(係長) 牧 和枝(担当者)
電 話	026 - 248 - 9026 (直通)
	026 - 245 - 1400 内線3645
ファクシミリ	026 - 248 - 8825
電子メール	kodomo@city.suzaka.nagano.jp

塩 尻 市

事業名	元気っ子応援事業
目的 (ねらい)	「元気っ子相談」は 保護者の方の子育てに対する心配や悩みなどを一緒に考える場、 集団生活でのお子さんの成長発達への気づきの場、 就学に向けた心構えを喚起する場として実施している。
開始年度	平成18年度
対象	保育園、幼稚園に在園する年中児（市外幼稚園通園児も含む）
実施場所	通園している幼稚園及び保育園
スタッフ	各幼稚園長、幼稚園教諭、各保育園長、園長代理、担任、こども課保育士等。 相談員は家庭児童相談員2名、教育相談員6名、保健師2名、養護教諭1名、心理士1名で交代して対応。
実施に至った 経過	<p>入園後集団生活において、落ち着きがない、集団行動が取れない、先生の話が聞けない、友達と上手に関われない等の行動面の心配</p> <p>小学校入学後、学習に集中できない、先生の話が聞けずに授業にはまりこめない、学級での生活がうまく過ごせない状況など小1問題（保育園等と小学校との環境の違いから、子どもが小学校になじめない問題）</p> <p>人間関係づくりに欠かせないコミュニケーションの不足から生じる問題 これらのことを予防し、子どもの健やかな成長を応援するために実施するものである。</p>
実績 (19年度もしくは 20年度)	<p>対象児640人に対して633人が元気っ子相談を受けた（99%）。二次検討会の結果、66人を応援対象児（要フォロー児）とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気っ子応援相談（元気っ子応援対象児または該当するであろう小学生の保護者等からの相談）72回 ・心理発達検査 51回 ・医療相談 年9回実施 実人員18人、延べ21人 <p style="text-align: right;">（H19年度）</p>
資料	<p>健診の流れと役割分担・・・別紙1</p> <p>フォローの対象（基準）・・・別紙2</p> <p>事後フォローの流れ・・・別紙3</p> <p>保護者用問診票・・・別紙4</p> <p>保育園、幼稚園用問診票・・・別紙5</p> <p>健診票（記録用紙、検査用紙）・・・別紙6</p> <p>保護者への説明用紙・・・別紙7</p>
備考 (実施して良かった点、気づいた点)	<ul style="list-style-type: none"> ・全員の保護者と同じ場を共有することにより、保護者に寄り添って話しをすることができる。 ・学校とのつながりが持ちやすく、就学に関して保護者に喚起する場となっている。 ・在園している園で元気っ子相談を実施していることで来談率が高い。 ・日常の生活の場となっている園で個別支援保育を実施することによって子どもの成長を促している。

<「元気っ子相談」の基本的な流れ>



課題活動における年中児(4～5歳児)の発達の特徴および記録の視点

	発達の特徴	記録の視点
自己紹介	名前・年齢・クラスなど身近な自己認識ができる。 性格の個人差はあるが、決められた内容を相手に分かるように言うことができる。	<u>正しい発音、発語ができるか。</u> <u>質問の内容(クラス・氏名・年齢)を理解したか。</u> <u>自分を理解しているか。(自己認識)</u>
	言葉や絵で表現されている世界を頭でイメージすることができ、全体の筋が理解できる。 現実とは違うと感じながらも、主人公と自分を同化させるなど、空想の世界にすんなり入れる。 周囲の状況を理解し、静かに座って最後まで絵本を見ることができるようになる。	<u>最後まで集中して見ているか。(集中力の持続)</u> <u>状況が分かり、静かに見ている(社会性)</u>
リズム遊び	指先を使った簡単な遊びは、模倣してできる。 指先は全指がほぼ分化して動かすことができるが、内容によっては連動してしまう場合もある。	<u>指先の器用さ(巧緻性)</u>
	保育士や周囲の友達の動きを模倣しながら、手遊びを喜んですることができる。	<u>体にリズム感があるか。(感覚統合・運動協調性)</u> <u>状況理解ができるか。</u>
	簡単なリズム打ちを模倣してすることができる。 少し難しいリズム打ちは、経験によりできるようになる。	<u>簡単なリズム打ちを耳で聞いて模倣することができるか。(聴覚・感覚統合)</u> <u>集中して保育士のリズムを聞くことができるか。(聴覚の発達)</u>
	ジャンケンの勝敗が分かり、遊びの中に取り入れてもほぼ理解できる。	<u>ジャンケンの勝敗の理解とそれを使った簡単なルールを理解ができるか。(理解力)</u> <u>相手が次に何を出すのかだいたいの予想を立ててジャンケンをすることができるか。(知恵)</u>
	簡単なルールを理解して遊ぶことができる。 友達を意識して、遊ぶことができる。 状況を理解して行動できる。	<u>簡単なルールを理解して遊ぶことができるか。(理解力)</u> <u>友達を意識して遊ぶことができるか。(社会性)</u>
ごっこ遊び	○5までの数や知っている物の概念理解ができる。 ○言葉だけの簡単な指示が理解できる。 ○言葉のやり取りの楽しさを感じることができる。	<u>お客が買いたい品物と数が、言葉だけで理解できるか。(言語理解)</u> <u>言葉の指示ができにくい場合、指で示した数の品物が理解できるか。(視覚理解)</u> <u>お客と言葉のやり取りができるか。(社会性)</u>
	ケンケンパのリズムで跳ぶことができる。 平衡感覚が養われて、自分なりのやり方で平均台を渡りきることができる。 四肢の力がついてきて、よじ登る、跳ぶ等の動作ができるようになる。 上手投げでボールを投げるができる。	<u>バランスを取りながらケンケンパのリズムでとぶことができる。(感覚統合・バランス感覚)</u> <u>どんな方法でも平均台を渡りきることができる。(感覚統合・バランス感覚)</u> <u>跳び箱のよじ登り、目標物に向かってジャンプする。(感覚統合・粗大運動能力)</u> <u>跳び箱から飛降りた時のバランスと身体保持の力(感覚統合・バランス感覚)</u> <u>ボールを投げる力(感覚統合・粗大運動)</u> <u>ボールを投げながら、握ったり、タイミングよく離したりする(感覚統合・協応性)</u>

保護者用

元気っ子相談カード

		(記入者)	父・母・その他()
		(記入日)	平成 年 月 日
幼稚園 保育園	組	児童 氏名	歳 ヶ月 (男・女)

相談したい該当事項 に をし、内容はできるだけ具体的にお書きください。
この相談カードは、一緒に配布された封筒に入れ、封をして園に提出してください。

1. お子さんの健康面で相談したいことがありましたら、お書きください。

[食事 睡眠 排泄 身体 病気 その他()]

2. お子さんの行動面で相談したいことがありましたら、お書きください。

[言葉 理解 対人関係 落ち着き 興味 表情 その他()]

3. 3歳児健診の時から、現在も引き続き相談されていることがありますか。

ない ある(よろしければ、具体的な内容をお聞かせください)

4. 小学校へ入学した時のことを考え、今から考えていきたいことがありましたらお書きください。

5. お子さんのよいところを三つお書きください。

このカードに記載された個人情報は、塩尻市教育委員会が責任を持って管理し、「元気っ子相談」以外の目的には使用いたしません。

元 気 っ 子 記 録 票

園名		—
----	--	---

記録期日	記録者氏名	児童氏名	生年月日	H 年 月 日
年 月 日			性別	男 ・ 女
歳 月		住所	電話番号	
年 月 日			保護者氏名	
歳 月				

区分		成長過程または気がかりな姿				
生活習慣	1 食事	<input type="checkbox"/> 箸 離席	ながら食べ 食べこぼし	手づかみ ぼんやり	姿勢 意欲	片付け 偏食
	2 排泄	要促し	お漏らし	頻繁なお漏らし		
	3 着脱	前後・裏表	掛け外し	自分で		
	4 整理	整理整頓	忘れ物	物をなくす		
	5 午睡	嫌がる	迷惑をかける	気になる癖		
	6 安全	危険無視	自傷行為	周囲に危険		
	7 清潔	衣服の汚れ	身体の汚れ	虫菌多い		
	他					
身体能力	1 運動	転びやすい 歩行が苦手	運動を嫌がる 歩こうとしない	衝動的 疲れてパニック	高所恐怖	散歩を嫌がる
	2 手指	折り紙 新聞紙丸め	折れ線 新聞紙ちぎり	粘土ちぎり	粘土丸め	粘土伸ばし
	他					
人間関係	1 友達	一人遊び ごっこ遊び少 トラブル多い	関わらない 低年齢児遊び 周囲に無関心	思い通りしたい 低年齢児と対等 喧騒嫌い	他児排除 仲間に入らない 周囲に流される	中断にパニック 仲間から抜ける
	2 集団	ルール理解 自他、善悪区別	複雑なルール 雰囲気判断	ルール変更	順番待ち	注意を忘れる
	他					

区分		成長過程または気がかりな姿				
----	--	---------------	--	--	--	--

環境	1	文字	強い興味関心	丸暗記に言う	数の概念		
	2	色	色の名前	色名称の対応	色の概念		
	3	大小	言語理解	判断に迷う	5までの数		
	4	感動	興味を示さない	感動表現なし			
	5	行事	大勢の人苦手	集中・感情高ぶり	不安定		
	他						
言語	1	発語	発音不明瞭	幼児言葉	単語・二語文	遅い発達	吃音
	2	表現	場面不適合	言い回し、独特	話そうとしない		
	3	会話	聞こえにくい 冗談が通じない	視線をそらす 状況の理解	オウム返し 名前を答えない	話をはぐらかす	一方的に話す
	5	物語	絵本に関心ない	動き回る			
	他						
表現	1	音楽	声を合わせない	歌詞を覚えない	喜んで歌わない	大きな音に敏感	
	2	描画	殴り書き	不明な表現	書き始めない	違う行動	1対1で描画
	3	身体	曲合わせ苦手 関心がない	ぎこちない	ごっこ遊びなし	指の動き苦手	動きが合わない
	他						
情緒	1	表情	表情硬い ぼんやりする	大人の顔色 チック症状	注意でパニック 不安定	保育士密着	共感
	2	行動	指しゃぶり、爪かみ	注意に防衛	乱暴な言葉	言い訳	特定のこだわり
	他						

課題	行動特徴
1 自己紹介	認知・言語（ 細部聴覚の劣位 / 即時的なことばの応答 ） 運動（ 発生・構音面での音韻障害 ）
2 絵本の読み聞かせ	認知（ 注意の発達の躓き ） 情緒（ 状況理解 ・ 情動の興奮しすぎ ）
3 リズムジャンケン	運動（ 粗大な協調運動の障害 / 聴覚運動 ） 運動（ 微細な協調運動の障害 / 聴覚運動 ） 知覚（ 認知 ） 認知（ 身体模倣の発達の躓き / 身体像の発達の躓き ） 知恵（ ジャンケンの勝敗 ）
4 ルールの遊び	対人（ 集団からの孤立 ） 対人（ 社会的ルールの理解の難しさ ） 対人（ 他者の心情の理解しにくさ ） 認知（ 知覚の発達の躓き ）
5 ごっこ遊び	数概念形成の躓き 細部視知覚（ 絵カードを見て、状況の指示理解が困難 ） 全体視知覚（ 自発的即興的なごっこ遊びの展開 ） 認知（ 数概念の高次化の躓き ） 状況理解の難しさ
6 運動遊び	運動（ 粗大運動協応 ）

元気っ子応援事業

子どもたちがそれぞれ個性や特性を大切にしながら、健やかに成長し、もっている力を十分発揮できるように、一人ひとりに応じた育ちを応援していく、0歳から18歳までを対象とした事業です。

得意なこと・苦手なことは、誰にでもあります

気持ちのブレーキをかけるのはちょっと苦手だけど、体を動かして運動するのは得意。
決まったことは、丁寧にバッチリできるよ。でも、突然起こることには、ちょっとビックリ。
人の顔や名前を覚えるのは苦手だけど、漢字を覚えるのはとっても得意だよ。
自分からはどんどん行動できるけど、話を聞いたりするのは苦手だな。
とっても元気！...だけど、道に飛び出して車にぶつかりそうになってしまった。
口数は少ないのですが、聞かれたことは正確に答えることができます。

育ちには人それぞれの個性などに応じたスピードがあり、みんなそれぞれの速さで成長していきます。

子どもたち一人ひとりの成長を見つめ、適切な応援や支援をしてまいります。



元気っ子応援事業の内容

元気っ子相談・・・通園している保育園で行います（ひばり組）

家や園での様子をお聞きするなどしながら、家や園の生活や活動・小学校へ入ってからの学校生活を楽しくするための相談です。

全てのお子さんを対象に、それぞれ成長や発達を、遊びや相談を通して保護者と一緒に見つけていきます。

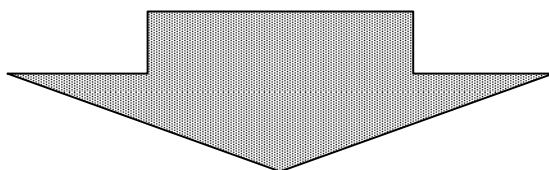
お子さんの成長や発達に不安を持っておられる保護者には、専門的知識や経験のあるスタッフが相談に乗り、お子さんの育ちを応援します。

保護者などがより専門的な相談を希望される場合は、専門機関をご紹介します。

～こんなことをします～

集団遊び...みんなで遊んでいる姿をみます。

保護者相談...お子さんの日ごろの育ちについて、お母さん・お父さんから様子をお聞きします。



元気っ子応援相談

元気っ子相談の後、お子さんのことについてさらにじっくり相談を希望される方、今後対応を必要と考えられる保護者を対象に、応援相談を実施します。この相談では、具体的な手立てや応援計画などについて一緒に考えます。

お子さんや保護者の立場に立って、将来を見すえるために個別相談を行います。

ご家庭や保育園での日常生活をしやすくするための具体的な手だてとして「応援プログラム」を一緒に作成していきます

元気っ子応援プログラム

応援相談や医療相談の中で具体的に検討され作成された「応援プログラム」を、「元気っ子応援チーム」がご家庭と協力しながら保育園などで行っていきます。

元気っ子医療相談

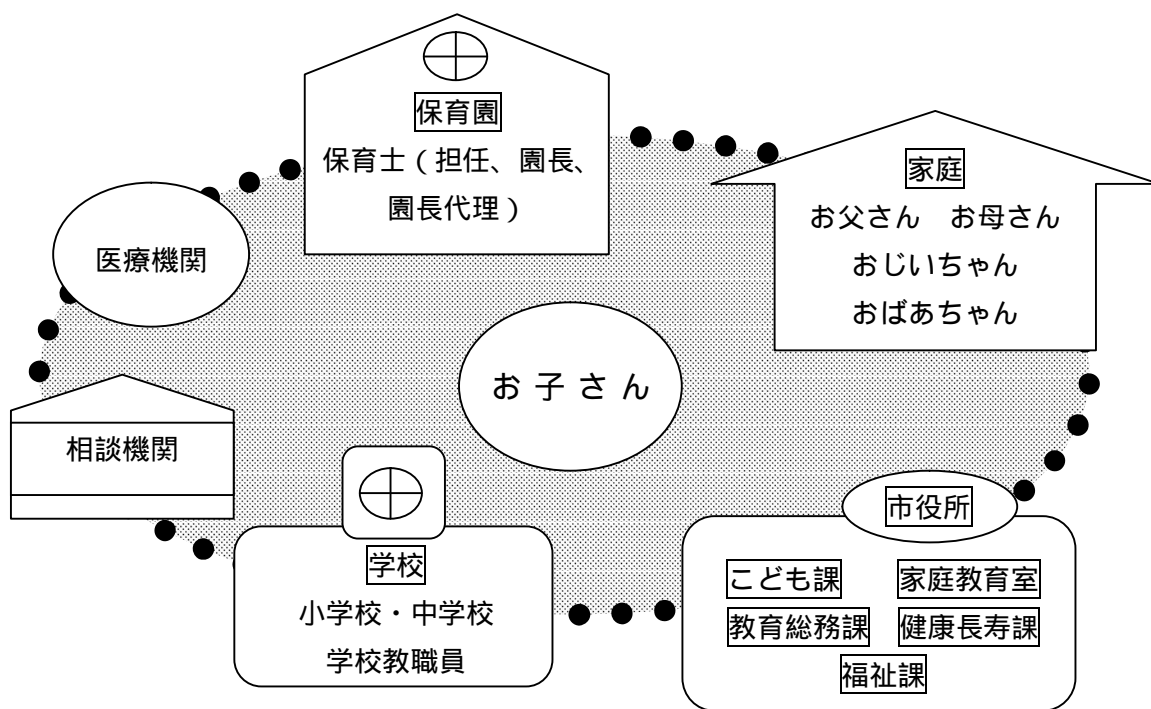
元気っ子応援相談の中で、医療相談を希望される場合は、医師の相談が受けられます。
(希望者)



元気っ子フォローアップ

保育園で実施してきた事項や内容を、小学校に入学してからもできるように改善工夫していきます。また入学してからも「元気っ子応援チーム」による応援を継続していきます。

元気っ子応援チームとは。。



子どもと保護者を中心に、園や学校、それに市役所の関係部署が手をつなぎ、子どもの豊かな成長のための応援方法を元気っ子応援チームが一緒に考えます。

みんなで作った「応援プログラム」を実施して、お子さんにあった成長を応援していきましょう。

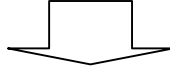


佐久穂町

事業名	5歳児子育て相談
目的 (ねらい)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保護者が子どもの育ち(発達・発育・生活・育児・食など)を見つめなおすことができる 2. 気になる子どもたち(軽度発達障害・育児など)について専門の相談ができる。(早期の発達支援) 3. 継続相談が必要な場合など、保護者と子への支援の継続ができる <p>*当町では、発達相談のみの健診とはせず、子育て全般の相談会として位置づけています。</p>
開始年度	19年度
対象	保育園年中児
実施場所	19年度:各保育園 20年度:八千穂福祉センター
スタッフ	小児科医師・保育士・心理相談員・臨床心理士・栄養士・歯科衛生士 元教諭・保健師・事務
実施に至った経過	3歳児健診から就学前健診(6歳)までの間に子どもは大きく成長します。しかしながらその間に集団での健診や相談会はなく、保護者も気になることがあっても相談をできずにいました。そこで子育てを支援していくという考え方の中から実施にいたりしました。
実績 (19年度もしくは20年度)	<p>19年度 対象91人 受診90人 相談内容の内訳: 発達30% 育児40% 生活習慣20% 他10%</p> <p>20年度 対象111人 受診105人 相談内容の内訳: 発達30% 育児30% 生活習慣20% 他20%</p>
資料	<p>健診の流れと役割分担・・・別紙1-1 1-2</p> <p>フォローの対象(基準)・・・別紙2</p> <p>事後フォローの流れ・・・別紙3</p> <p>保護者用問診票・・・別紙4</p> <p>保育園、幼稚園用問診票・・・別紙5</p> <p>健診票(記録用紙、検査用紙)・・・別紙6</p> <p>保護者への説明用紙・・・別紙7</p>
備考 (実施して良かった点、気づいた点)	今後は小学校との連携を強化していく

5歳児子育て相談事前準備

1・名簿作成 (町内の保育園に通園していない児童の振り分け)



2・対象者へ通知(実施の1月前)

通知文の内容(資料別添)

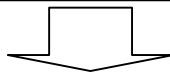
- (1)通知文 5歳児子育て相談のお知らせ……………別紙7
- (2)問診票 5歳児子育て相談 受診票(保護者が記載して下さい)・別紙4
- (3)問診票 5歳児子育て相談～集団生活についてお尋ね～……………別紙5

町内保育園通園児童

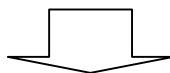
- ・通知 保育園で配布
- ・ の(2)は保護者記載
- ・ の(3)は園での様子について保育士(担任)と保護者が面談をして記載

町内保育園に通園していない児童

- ・郵送にて通知
- ・ の(2)については保護者が記載し町へ提出
- ・ の(3)については保護者が保育園・幼稚園と相談し記載



3・問診票が提出されたところで、児童の様子を整理(保護者からの相談など確認)



4・関係者打ち合わせ

- ・町保健師・保育士で個別の相談内容の確認
- ・当日の打ち合わせ(当日のスケジュールは別添)
- ・グループ分け(当日は2グループ(A)(B)にわけて実施)



5・事前に医師・心理相談員・就学相談担当(元教諭)と当日の打ち合わせ(子どもの概要・相談内容など)

フォローの対象について

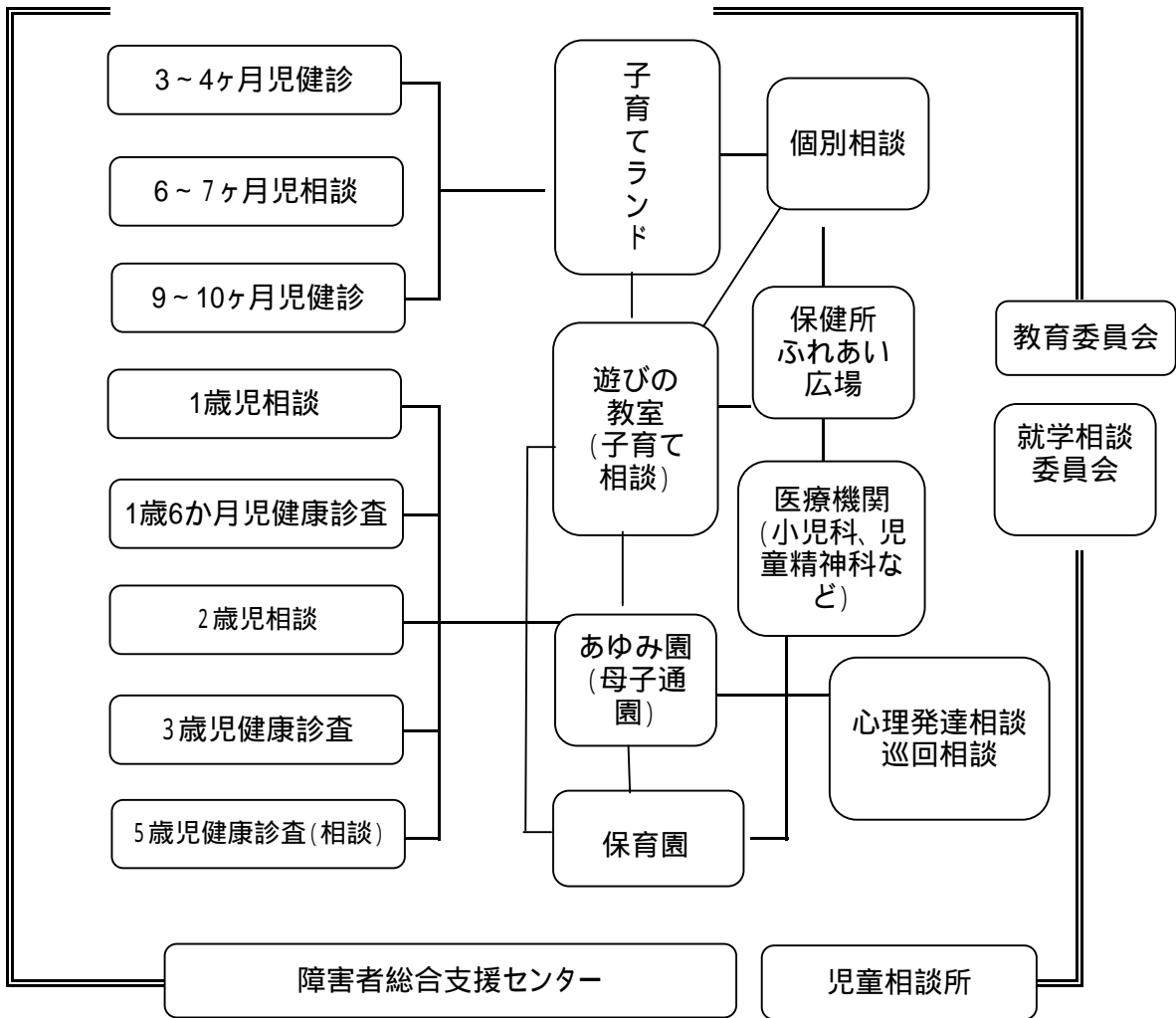
5歳児相談のフォローの対象（基準）については、この検査項目という基準ではなく、相談の中で専門職がそれぞれ判断をしております。

事後フォローについては、別紙のとおりです。個々の概要に応じて行っております。

1. 保健所のふれあい広場で相談を行う（心理・言語・医師）
2. 保育園で要観察（障害者支援センターの療育コーディネーターと保健師、またはコーディネーターと保育士で巡回。必要時保護者と相談。児童相談所の心理相談員に依頼し個別相談）
3. 医療機関受診
4. その後の療育については、医療機関などを利用しながら相談・療育を行っている。

あゆみ園（母子通園）でのフォローも検討しましたが、未就園の子どもたちのニーズの対応でいっぱいであること。地域性からあゆみ園の通園に抵抗のある場合があること。などから保健所・児童相談所を利用しながらフォローしております。

アスペルガーの診断のついた子もあり、保健所のステップアップ教室を利用しながら就学に向かっています。



小学校と保育園との連携について(21年度に向けて)

5歳児子育て相談 実施

1年半後の就学時には

小学校生活において支援が必要と思われる児童とその事柄を整理
資料づくり 「保育要録」に必要事項を記載 (「保育所保育指針」に基づく)

「保育園」・「小学校」・「保健師」・「住民福祉課 こども支援係」・「教育委員会」等をスタッフに、それぞれの部署から必要に応じた引継ぎをする。(発達・生活習慣・食物アレルギーなどあらゆる心配な事柄について)

(具体的な方法については教育委員会と検討中)

就学後

新一年生の授業参観を兼ね保育士が学校へ訪問。
就学後も情報を共有することで連携の強化をはかる。



5歳児子育て相談のお知らせ

佐久穂町では、すこやかに子どもたちが育つことを願い「5歳児子育て相談」を行っています。この相談会は、各保育園の年中児クラスごとに行います。

ぱんだ組は10月16日(木)AM・ひつじ組は11月13日(木)AMです。

どうして5歳児なの？

佐久穂町では3歳児健診終了後、小学校入学までの間、社会的発達の大変な時期である5歳で子育て相談を行っています。5歳頃になると、集団生活にもなれ、友人関係のとり方も学び、社会性・運動・知的にもさらに伸びてきます。反面、子どもたちの世界が出来上がるので、仲間に入りにくい子や集団の場でうまく力を発揮できないなど、集団生活ならではの心配もでてきます。そこで新たに相談会として実施しています。

どんな相談ができるの？

保護者の皆さんの希望により個別相談ができます。

お子さんに関する心配事やちょっとした気がかりに答えます。また、就学を控え、学習や小学校生活に向けての相談もできます。**医師・教育相談員・心理相談員・栄養士・保健師**などが、相談内容に応じて相談を伺います。

なお、**歯科相談**は全員が行います。



問診票はありますか？

家庭の様子を記入していただく問診票と、園での生活を記入していただく問診票と2種類あります。園での問診票は担任の先生と相談しながら記入をお願いします。

いつですか？

海瀬保育園は ぱんだ組は10月16日(木)ひつじ組は11月13日(木)です。

ご案内の通知や問診票は9月中旬にお渡しする予定です。

時間・場所は？

8時半からの受付で午前中に終了です。保護者の方は、終了次第お帰りいただきます。お子さんは会場に残っていただき全員で保育園に移動します。その後通常保育になります。**場所は八千穂福祉センターです。**

***ご都合をつけてお出かけいただきますようにお願いします。**

5歳児子育て相談についてのお問合せ

栄 保育園 86-2186

役場住民福祉課 88-2530

上 松 町

事業名	5才児すこやか健康相談
目的 (ねらい)	<p>子どものすこやかな発育・発達を支援する。</p> <p>保護者が子どもの発育・発達の状況を知ること、子どもへの適切な対応や就学への準備につなげる。</p> <p>早期に子ども発達・発育状況 発達障害等 を知ることにより、関係機関が連携して支援を継続していく。</p>
開始年度	平成20年度
対象	当該年度に5歳に達する児 5歳に達してから行う。
実施場所	上松町健康増進センターおよび上松町保育園
スタッフ	<p>保健師・管理栄養士・保育士</p> <p>療育コーディネーター・作業療法士・事務担当者</p>
実施に至った経過	<p>3才児健康診査では、集団での様子まで把握できず、入園してから支援の必要性を感じる児が出てくる場合があった。しかし、保護者に状況を伝えていく面で難しさがあったため、5才児すこやか健康相談で、問診や集団遊びの様子や簡易発達検査の結果にもとづき、保護者全員の個別健康相談という形で保護者の方と面接し、きめ細かい対応のなかで支援していく体制作りを必要と感じたため実施することとした。</p>
実績 (19年度もしくは20年度)	<p>平成20年度 対象者 37人</p> <p>実施者 23人 3月実施予定者14人</p>
資料	<p>健診の流れと役割分担・・・別紙1</p> <p>フォローの対象(基準)・・・別紙2</p> <p>事後フォローの流れ・・・別紙3</p> <p>保護者用問診票・・・別紙4 塩尻市を参照にしました</p> <p>保育園、幼稚園用問診票・・・別紙5 塩尻市を参照にしました</p> <p>健診票(記録用紙、検査用紙)・・・別紙6</p>
備考 (実施して良かった点、気づいた点)	<p>保護者が、不安に感じたり悩んだりしていることに、寄り添いながら相談することができた。</p>

5歳児すこやか健康相談について

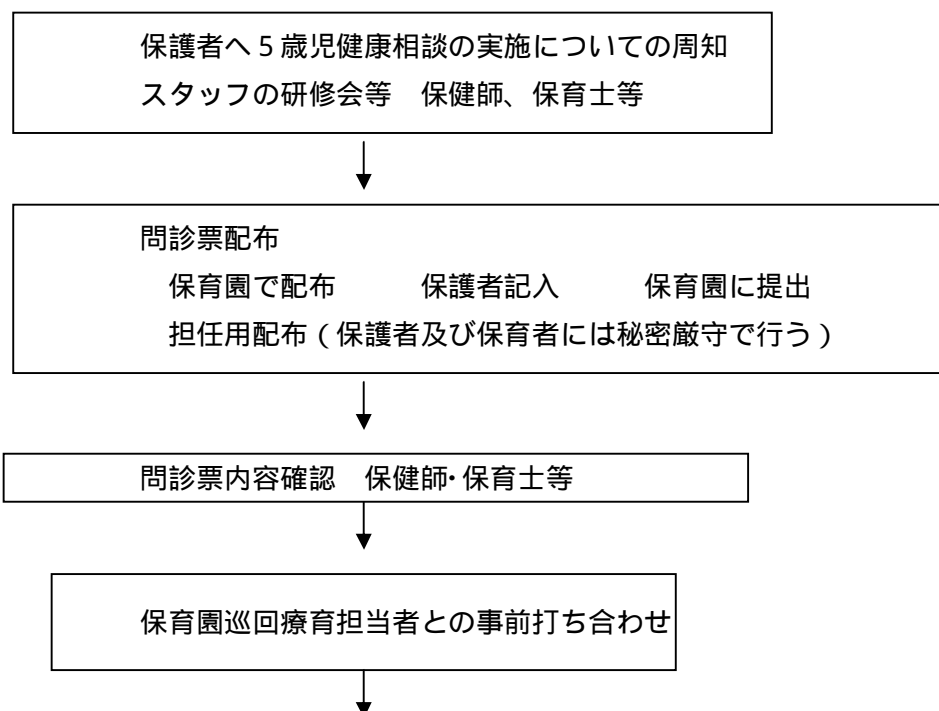
目的 子どものすこやかな発育・発達を支援する。
 保護者が子どもの発育・発達の状況を知ることで、子どもへの適切な対応や就学への準備につなげる。
 早期に子ども発達・発育状況 発達障害等 を知ることで、関係機関が連携して支援を継続していく。

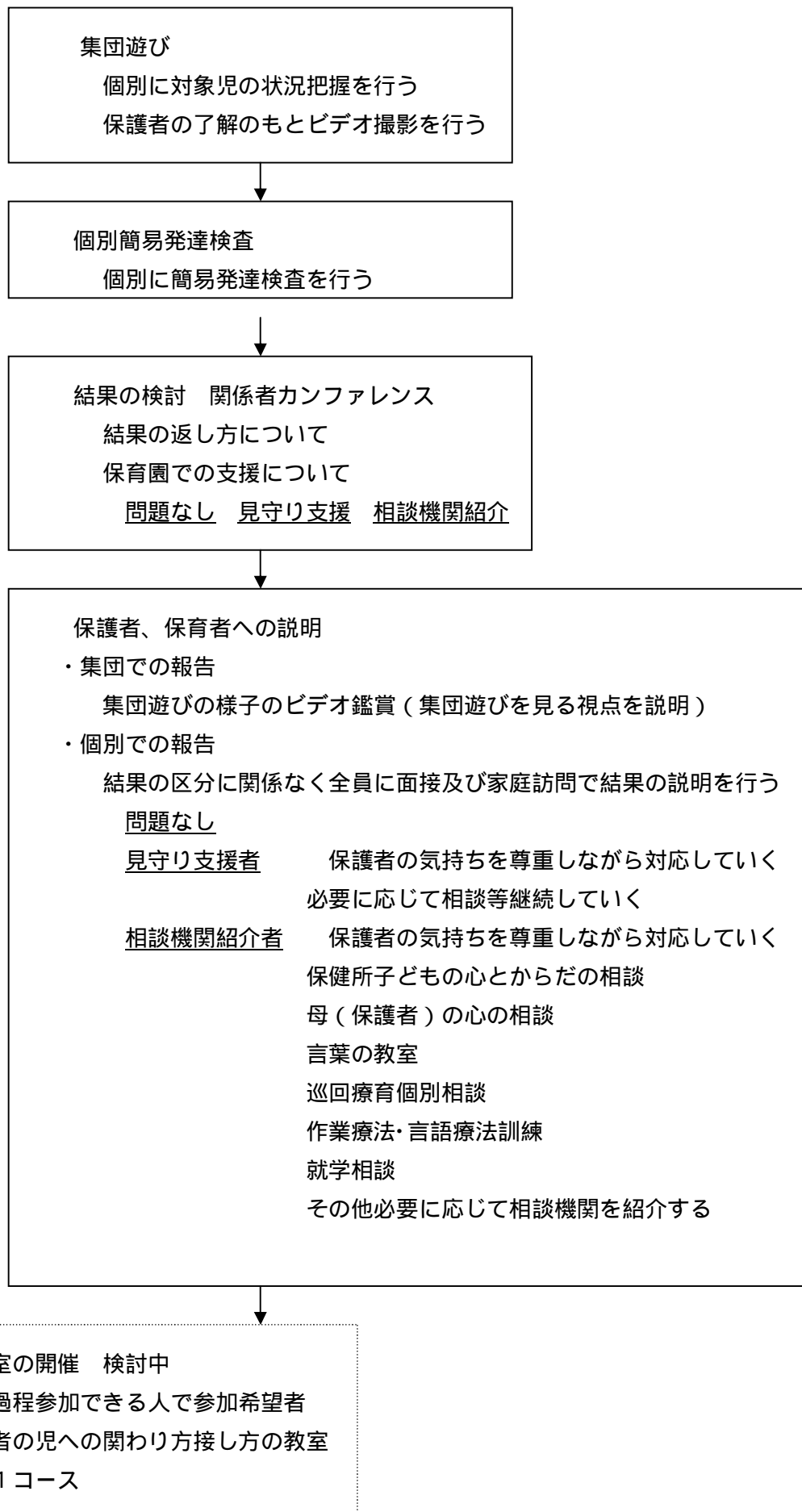
対象児 上松町在住の年度中に5歳になる幼児 保育園の年中児

実施方法 保護者及び保育者に問診票を配布し記入をお願いする。同時に保育園の担任も同じ問診票に記入する。二つの問診をもとに健康相談担当でスクリーニングを行い対象児の状況等を確認する。
 健康相談担当が保育園にて対象児の行動観察を行い、全員に簡単な発達検査を行う。
 をもとに関係者でカンファレンスを行い、発達・発育の状況確認を行う。
 健康相談担当で対象児の保護者及び保育者と個別面接を行い、結果の報告や相談に応じていく。
 要経過観察児、およびフォローや支援の必要な児については、保護者の気持ちを尊重しながら、丁寧な対応を行い、早期療育及び就学相談等に結びつけていく。

担当者 保健所保健師、ともに巡回療育担当者、子育て支援センター、
 上松保育園、保健衛生係

流れ





5歳児すこやか健康相談 個別質問票

記録者 _____

番号	クラス	氏名	男・女	生年月日	年	月	日
----	-----	----	-----	------	---	---	---

1. あなたのお名前を教えてください。 ()
2. あなたは、男の子ですか？女の子ですか ()
3. 今日、保育園までどうやって来ましたか。()
4. あなたは、今日のお昼(朝)に何を食べましたか。(具体的に2 . 3個)

課題1

次に、紙と鉛筆を使った問題をやって見ましょう。(鉛筆を渡し、順次課題用紙を提示する。)

(フロスティック)

(正方形)

(人物画 9ヶ所中5ヶ所で合格) 目、耳、脚、足、腕、手、髪、首筋、眉毛

課題2

今度は、私が短い文を読みます。あなたは、それをよく聞いて、聞き終わったらまねをして言ってください。

「ちいさな さかなに えさをやる」

「ラーメンも カレーも どっちも好きです。」

課題3

それではいくつか質問するので教えてください。

あなかが園のお庭で走って遊んでいる時に、まちがってお友達の足が、あなたの足にぶつかったらどうしますか？(不正解：けり返すなど攻撃的行動)

園の折り紙の時間です。もしも先生が忘れて、あなたの折り紙だけもらえなかった時はどうしますか。

これで全部終わりです。

白馬村

事業名	5才児相談
目的 (ねらい)	3歳児健診でははっきりしなかった知能や行動(集団)、情緒面における問題や軽度の異常を発見し、適切な援助のもと子供が育っていける支援を親とともに考える。
開始年度	平成20年度
対象	5才児 親からの相談希望者・巡回時での保母からの相談者
実施場所	5才児おたずね票による調査・保育園や幼稚園の巡回相談にて
スタッフ	保健師 療育コーディネーター・臨床心理士・理学療法士・作業療法士
実施に至った 経過	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園・保育園での集団行動を通して親が実感として子供の変化に気づきやすい時期で、親からの相談が時折見られたため ・ 3歳児以降に転入してきたものの把握・相談を受け易くするため
実績 (20年度)	相談実施数 3人 内発達障害早期発見数 1人
資料	相談の流れと役割分担 おたずね票配布 回収 電話 面談 あそびの教室 面談までは保健師が実施し、必要に応じて面談から臨床心理士等も加わる 保護者用問診票・・・・・・・・・・別紙1
備考 (実施して良かった点、気づいた点)	親からの相談という事で専門機関への紹介がスムーズに繋がった。

5才児おたずね票

【白馬村 別紙1】

記載して、麻しん、風しん予防接種日にご持参ください。

当てはまる を塗りつぶしてください。

例 はい いいえ

記入者:母 父 その他()

健診日:平成 年 月 日

お子さんの名前:	生年月日:平成 年 月 日
通っている園:	クラス名:
電話番号:	(才 ヶ月)
家族構成:	人家族 兄弟姉妹の無・有り() 3歳児健診を受けてから、転居したり家族構成に変化がありましたか。 はい(具体的に) いいえ
何か心配なことがありますか。	今までにかかったことがある病気 麻しん 風しん 水ぼうそう 肺炎 百日咳 おたふく風邪 先天性股関節脱臼 食物アレルギー 喘息 アトピー性皮膚炎 外科手術 治療を要する事故 けいれん(才 ヶ月時) その時の発熱 あり 無 その他
相談を希望しますか。 はい () いいえ	

1. スキップができますか	はい	いいえ
2. ブランコに乗ってこげますか	はい	いいえ
3. 思い出して絵を書くことができますか。	はい	いいえ
4. お手本を見て、口を書くことができますか。	はい	いいえ
5. 色(赤・青・黄・緑)がわかりますか。	はい	いいえ
6. はっきりした発音で話ができますか。	はい	いいえ
7. 家では、どんな遊びが好きですか。	()	
8. 目が悪いのではないかと思うことがありますか。	はい	いいえ
9. 聞こえが悪いのではないかと思うことがありますか。	はい	いいえ
10. 理解が悪いのではないかと思うことがありますか。	はい	いいえ
11. 以下の項目で心配なことがあれば、 を塗りつぶしてください。		
怖がったりおびえたりする。	母から離れられない	園に行きたがらない
親や周囲の人たちに無関心	遊びがかたよる	友達と遊べない
落ち着かない	乱暴である	ひどく聞き分けがない
動きが乏しい、ぎこちない	どもりや赤ちゃん言葉がある	指しゃぶり・爪かみ
偏食が強い	こだわりが強い	食の心配
排泄の心配(夜尿・おしっこが近い・おもらし など)		睡眠の心配

1. 昼間は主に誰がお子さんをみていますか。	母 父 祖父母 その他()
2. 子育ての相談ができる人はいますか。	配偶者 実父母 義父母 きょうだい 近所の人 役場 子育て支援ルーム 医療機関 保育園・幼稚園 その他 無
3. 子育て仲間はいますか。	はい いいえ
4. お子さんはなかよしの友達はいますか。	はい いいえ
5. お父さん・お母さんはこどもとよく遊びますか。	よく遊ぶ 時々遊ぶ あまり遊んでいない まったく遊ばない
6. お子さんは	育てやすい 育てにくく苦労している どちらともいえない
7. 子育てについて、あなたの気持ちに一番近いのはどれですか。	(5つの顔の表情から選択してもらう)

(参考資料)

厚生労働省

- ・「発達障害情報センター」ホームページ
- ・リーフレット「発達障害の理解のために」(平成20年)
- ・「障害児支援の見直しに関する検討会報告書」(平成20年)
- ・「発達障害者支援の推進に係る検討会報告書」(平成20年)

長野県自閉症・発達障害支援センター(長野県精神保健福祉センター内)

- ・リーフレット「支えあおう発達障害」(平成19年)
- ・「発達障害支援ガイドライン2008」(平成20年)

長野県精神保健福祉センター

- ・「乳幼児精神発達健診マニュアル」(平成8年)

厚生労働科学研究報告書

- ・「ライフステージに応じた広範性発達障害者に対する支援のあり方に関する研究」(平成20年)

広島県保健福祉部

- ・「乳幼児健康診査マニュアル」(平成20年3月)

恩賜財団母子愛育会

- ・「発達障害児の早期発見と支援」テキスト(平成20年7月)

国立精神・神経センター精神保健研究所

- ・「発達障害児と家族への早期総合支援：早期発見と早期支援のガイドライン」